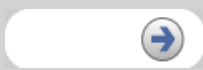


目次

- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 基本的な操作方法
- 第3章 用途に応じた読み取り方法
- 第4章 日常の手入れ
- 第5章 消耗品の交換
- 第6章 問題が起きたとき
- 第7章 スキャナの設定
- 第8章 ADFにセットする原稿について
- 第9章 オプション
- 第10章 スキャナの仕様
- 付録



fi-5750C イメージスキャナ オペレータガイド

P3PC-E747-03



目次

はじめに

法規制情報
 商標について
 注記および責任事項
 表記について
 安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録

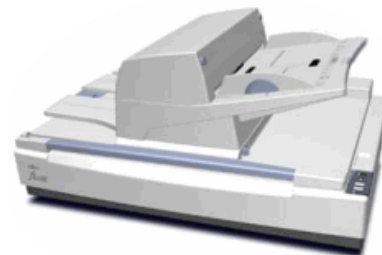


はじめに

このたびは fi-5750C カラーイメージスキャナをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 fi-5750C は自動給紙が可能なADF (Automatic Document Feeder) スキャナ部と、薄い原稿、本などの厚みを持った原稿も読み取り可能なフラットベッド部とで構成されている、高性能スキャナ装置です。

製品の特徴：

180度回転のADF- 左右双方向から原稿セットが可能
 高解像度高速スキャン- 55ppm/110ipm (A4サイズ原稿、200dpi設定時)
 広いスキャン面積- 304.8mm × 457.2mm (最大)
 ADF 移動により省設置スペースを実現

>> [コンテンツ一覧](#)

<< 1 | 2 >>

CONTENTS MAP

はじめに				
法規制情報	商標について	注記および責任事項	表記について	安全上のご注意
第1章 各部の名称と機能				
1.1 各部の名称とはたらき	1.2 操作パネルの機能			
第2章 基本的な操作方法				
2.1 電源の投入と切断	2.2 ADFの設定	2.3 ADFへの原稿のセット	2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき	2.5 原稿の読み取り方法
2.6 スキャナドライバの使い方				
第3章 用途に応じた読み取り方法				
3.1 両面を一度に読み取りたいとき	3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき	3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき	3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき	3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）
3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき	3.7 ダブルフィードを検出したとき	3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき		
第4章 日常の手入れ				
4.1 清掃用品および清掃が必要な箇所	4.2 ADFの清掃	4.3 フラットベッドの清掃		
第5章 消耗品の交換				
5.1 消耗品の番号と交換周期	5.2 ブレーキローラの交換	5.3 ピックローラの交換		
第6章 問題が起きたとき				
6.1 原稿づまりが発生したときには	6.2 操作パネルのエラー表示	6.3 サービスセンターに連絡する前に	6.4 装置ラベルの確認	
第7章 スキャナの設定				
7.1 スキャナの設定	7.2 ダブルフィードの検出	7.3 縁消しの設定	7.4 ドロップアウトカラーの設定	7.5 プレビックモードの設定
7.6 消耗品カウンタのリセット	7.7 オフセット調整	7.8 倍率調整	7.9 省電力設定	
第8章 ADFにセットする原稿について				
8.1 原稿のサイズ	8.2 原稿の紙質	8.3 セットできる原稿の枚数	8.4 穴をあけてはいけない領域	8.5 ダブルフィードの検出条件
8.6 ジョブ区切りシート				
第9章 オプション				
9.1 増設メモリ				
第10章 スキャナの仕様				
10.1 装置基本仕様	10.2 設置諸元	10.3 外形寸法		
付録				
付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に	付録 2 用語解説	チェックリスト	トラブルシューティング	



目次

はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



法規制情報

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準にもとづくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境での使用を目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従い正しく取り扱ってください。

米国FCC 適合宣言

本製品は、FCC規則第15章に定められたクラスBデジタル機器に関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。本規制は、住宅への設置に際しての有害な干渉に対する、正当な保護を規定するために策定されました。本製品は、電磁波を発生し、使用し、外部に放射することがあります。取扱説明書に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特定の設置方法によって、干渉が引き起こされないということを保証するものではありません。本装置が、ラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしているかどうかは、本装置の電源を切ったり入れたりしてみると分かります。有害な干渉が起きている場合、ユーザは、以下に示す対策を1つ以上講じてみることをおすすめします。

受信アンテナを別の方向に向けるか移動してください。
本装置と受信機との距離をさらに離してください。
受信機が設置されているのは異なる回路にあるコンセントに、本装置を接続してください。
販売店もしくはラジオ/テレビの熟練技術者に相談してください。

警告

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、装置を操作するユーザーの権利を喪失することがあります。

注記

シールドインタフェースケーブルを使用するには、FCC規定のクラスB規制に準拠している必要があります。
AC電源ケーブルは、3メートル（10フィート）以下のものを使用してください。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 ▶

目次

はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



法規制情報 (前頁からの続き)

カナダ DOC (通信省) 規制

本デジタル装置は、デジタル機器から放出される電波干渉雑音が、カナダ通信局 (Canadian Department of Communications) の電波妨害規制で定められたクラスBの制限を越えていません。

本クラスBデジタル装置は、カナダ ICES-003に準拠しています。

Le present appareil numerique n'emet pas de parasites radioelectriques depassant les limites applicables aux appareils numeriques de la classe B et prescrites dans le Reglement sur le brouillage radioelectrique dictees par le Ministere des Communications du Canada. Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

Bescheinigung des Herstellers / Importeurs

Fur den fi-5750C wird folgendes bescheinigt:

In Ubereinstimmung mit den Bestimmungen der EN45014(CE) funkentstort
Maschinenlarminformationsverordnung 3. GPSGV: Der hochste Schalldruckpegel betragt
70 dB (A) oder weniger, gemas EN ISO 7779.

事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについてお願い

この製品の所有権が事業主の場合には、使用後に廃却される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票 (廃棄物管理表) の発行が必要となります。

製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社 (産業廃棄物収集運搬許可業者) にて引き取りを行いますので、その際には、

「PFUライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター」 (電話0467-70-7290)

へお問い合わせをお願いします。

当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済み製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルを行っています。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 ▶

目次

はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



法規制情報 (前頁からの続き)

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる装置は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国で統一されています。

高調波ガイドラインについて

高調波ガイドライン適合品

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。詳細は富士通ホームページ「環境のコーナー」をご参照ください。<http://eco.fujitsu.com/jp/>



いつも地球を見守っている

目次

はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



法規制情報 (前頁からの続き)

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

水銀使用について

本製品のランプには水銀が使用されています。
危険防止のために下記の事項を厳守してください。
下記の事項を行うと、深刻な人的負傷を招きます。

水銀を使用したランプの中身を口に入れしないでください。
本製品を焼いたり、砕いたり、粉末にしないでください。
本製品に使用されている科学的処理をした液体を吸引しないでください。

本製品を廃棄する場合は、関係国内法および廃棄物処理規定に従ってください。

紙幣等の偽造防止について

紙幣、有価証券などをスキャナを使用してプリンタに不正に印刷すると、その印刷物の使用如何にかかわらず下記の法律に違反し、罰せられます。刑法 第148条、第149条、第162条、通貨及証券構造取締法 第1条、第2条等

複製について

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証許可証、公文書、私文書などの複製は違法であり、処罰の対象となります。

著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

目次

はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



商標

商標および登録商標について

Microsoft、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat および Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標です。

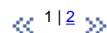
ISIS および QuickScan は、EMC Corporation の米国における登録商標および商標です。

商標の表記について

オペレーティングシステム (OS) は、以下のように表記します。

Windows® 95: Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
 Windows® 98: Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
 Windows® Me: Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
 WindowsNT® 4.0: Microsoft® WindowsNT® Server operating system Version4.0 日本語版
 Microsoft® WindowsNT® Workstation operating system Version4.0 日本語版
 Windows® 2000: Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
 Windows® XP: Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版
 Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows® と表記しています。



目次

[はじめに](#)[法規制情報](#)[商標について](#)[注記および責任事項](#)[表記について](#)[安全上のご注意](#)[第1章 各部の名称と機能](#)[第2章 基本的な操作方法](#)[第3章 用途に応じた読み取り方法](#)[第4章 日常の手入れ](#)[第5章 消耗品の交換](#)[第6章 問題が起きたとき](#)[第7章 スキャナの設定](#)[第8章 ADFにセットする原稿について](#)[第9章 オプション](#)[第10章 スキャナの仕様](#)[付録](#)

商標 (前頁からの続き)

製造・販売元

株式会社PFU

イメージビジネス営業統括部 第一営業部

212-8563 神奈川県川崎市幸区堀川町 580番地 (ソリッドスクエア東館)

TEL : (044) 540-4538

All Rights Reserved, Copyright(C) PFU LIMITED 2006

[1](#) | [2](#)

目次

はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



注記および責任事項

本製品をお使いいただく前に、このマニュアルを熟読してください。本製品を正しくご使用いただけないと、ユーザーまたは第三者に予期せぬ事故が起こることがあります。

- ・本書の内容の全部または一部を複製すること、および本製品添付のソフトウェアを複製することは著作権法上禁止されております。
- ・本書の内容は、改善のため予告無く変更されることがあります。
- ・本装置の使用および本書に記載された内容に起因する損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切責任を負うものではありません。

目次

はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



表記について

安全上のご注意

本マニュアルには、本製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をご使用される前に、本マニュアルを熟読してください。特に、本マニュアルに記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みください。

また、本マニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

本マニュアルで使用している警告表示について

本マニュアルでは、製品を安全かつ正しくお使いいただき、使用者や第三者に加えられるおそれのある危害や存在を未然に防止するために、次のような表示をしています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を迫る可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

◀ 1 | 2 | 3 ▶

目次

はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



表記について(前頁からの続き)

本マニュアルで使用している記号について

本マニュアルでは、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。

注記

特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。

ヒント

操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。



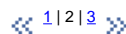
丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な支持内容を表す絵が描かれている場合もあります。



このアイコンをクリックすると動画が再生します。



目次

はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



表記について (前頁からの続き)

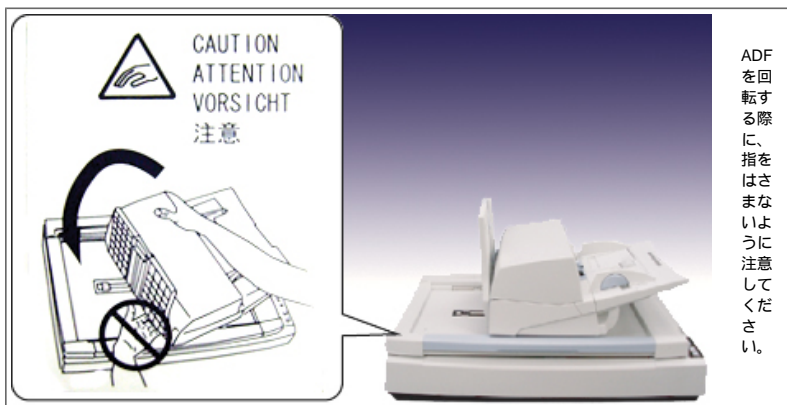
本マニュアルに記載されている画面について

本マニュアルに記載されている画面は、製品の改善のため、予告なく変更することがあります。

表示されている画面が、本マニュアルに記載されている画面と異なる場合は、ご使用のスキャナアプリケーションの取扱説明書を参考にし、実際の画面に従って操作してください。

警告ラベルについて

当製品には下図のような警告ラベルが貼付けしてあります。



警告ラベルは絶対にはがさないでください。また、汚れてメッセージなどが見にくくなった場合は[PFUイメージングサービス&サポートセンター](#)までご連絡ください。

メンテナンスについて

本製品の修理は、お客様自身で行わないでください。

製品をお求めになった販売店、または[PFUイメージングサービス&サポートセンター](#)にご連絡ください。

目次

はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



安全上のご注意



警告

以下では、本マニュアルに記載されている重要な警告について解説します。



濡れた手でAC電源ケーブルを触らない。濡れた手で電源プラグを触らない

濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



AC電源ケーブルを傷つけない

AC電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしてAC電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。また、AC電源ケーブルや電源プラグが痛んでいた、コンセントの差込口がゆるい場合は、使用しないでください。



指定されたAC電源ケーブルや接続ケーブルを使用する

指定されたAC電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。指定以外のAC電源ケーブルや接続ケーブルを使用すると、感電や故障の原因となることがあります。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。また、たこ足配線をしないでください。



電源プラグのほこりは、よく拭き取る

電源プラグの金属部および金属部の取り付け面に、ほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 ▶

目次

はじめに

法規制情報

商標

注記、責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



安全上のご注意 (前頁からの続き)



警告

以下では、本マニュアルに記載されている重要な警告について解説します。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。



異臭がしたら使用しない

万一、機器から発熱や発煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、販売店またはPFUイメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。



機器を破損したら電源を切る

いかなる理由によっても、機器を破損した場合は、機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



内部に水や異物を入れない

開口部(通風口など)から内部に金属類などの異物を落とし込んだりしないでください。濡れた原稿やクリップなどのついた原稿をスキャンしないでください。本体に水をかけたり濡らしたりしないでください。異物(水、金属片、液体など)が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはPFUイメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。特に、お客様のいるご家庭ではご注意ください。



むやみに内部を開かない

装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。内部の部品に触ると、火災や感電の原因になる場合があります。

目次

はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



安全上のご注意 (前頁からの続き)



注意

以下では、本マニュアルに記載されている重要な注意について解説します。



装置を不安定なところに置かない

スキャナのどの部分も、机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。装置を不安定なところに置かないでください。装置を振動が少なく、傾かないような平らな場所に置いてください。スキャナ本体やその他の装置の重量を支えられる、堅牢な場所に置いてください。



電源プラグを確実に差し込む

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。



通気口をふさがない

通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。



装置の上に重いものを載せない、上に乗らない

装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となることがあります。



装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く

ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意してください。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 ▶

目次

はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



安全上のご注意 (前頁からの続き)



注意

以下では、本マニュアルに記載されている重要な注意について解説します。



静電気を避ける

強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。



清掃などの目的で、エアスプレーを使用しないでください

スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となることがあります。



スキャナの使用中は装置を触らない

スキャナの使用中は、装置を触らないでください。けがの原因となることがあります。



長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光の当たる場所に置かない

直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 ▶

目次

はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



安全上のご注意 (前頁からの続き)



注意

以下では、本マニュアルに記載されている重要な注意について解説します。



一人で装置を動かしたり移動したりしない

本装置は重いので (35kg)、運ぶ場合は、必ず2人以上で運ぶようにしてください。



輸送ロックおよびADF輸送ロックねじを締めてから、本装置を運ぶ

本装置を運ぶ際には、装置の故障を防ぐために、輸送ロックおよび、ADF輸送ロックのねじを締めてください。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

1.1 各部の名称とはたらき

1.2 操作パネルの機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



第1章 各部の名称と機能

この章では、各部の名称とはたらきについて解説します。

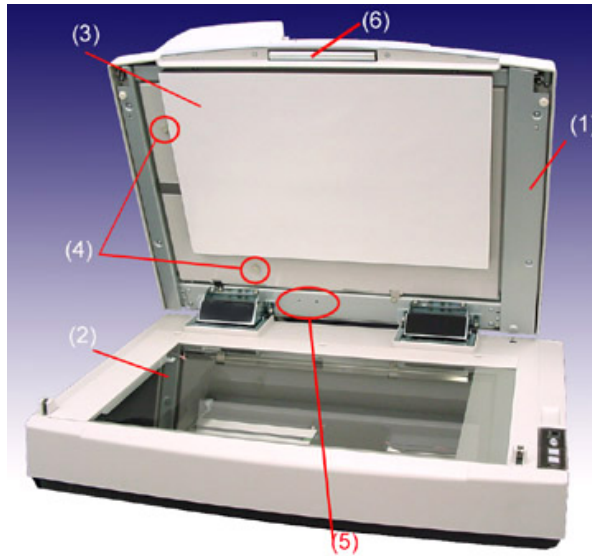
目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
1.1 各部の名称とはたらき
1.2 操作パネルの機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録



第1章 各部の名称と機能

1.1 各部の名称とはたらき



No.	名称	機能
1	ドキュメントカバー	閉めると、読み取り位置にセットした原稿が固定されます。
2	原稿台	フラットベッド読み取りの場合、ここに原稿を置きます。
3	原稿押さえパッド	原稿を原稿台に押し付けて固定します。
4	ADF輸送ロックネジ	ADFを固定します。輸送時にADFを固定します。
5	ロックネジ保管位置	ADF固定解除後、抜き取ったADF輸送ロックネジを保管します。
6	ハンドル	ドキュメントカバーの開閉に使用します。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

1.1 各部の名称とはたらき

1.2 操作パネルの機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

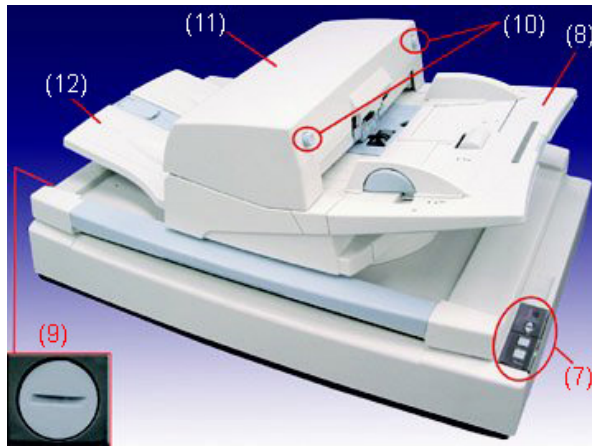
第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



1.1 各部の名称とはたらき (前頁からの続き)



No.	名称	機能
7	操作パネル	このパネルは、ファンクションナンバーディスプレイ、ボタン、LEDから構成されています。
8	ADF給紙シュート	フラットベッド読み取りの場合、ここに原稿を置きます。
9	輸送ロック	輸送時にこのロックでフラットベッド内のキャリアユニットを固定します。輸送時にADFを固定します。
10	ADF ボタン	ADFを開くときにはこのボタンを押します。
11	ADF (自動給紙部)	原稿を読み取り位置まで自動的に繰り込みます。必要に応じて、回転及びスライドさせ、3つの位置に設定できます。
12	スタック	ADFで読み取られた原稿はこのトレイに積み重なります。高・低の2つの位置に高さを設定できます。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#)

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

1.1 各部の名称とはたらき

1.2 操作パネルの機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

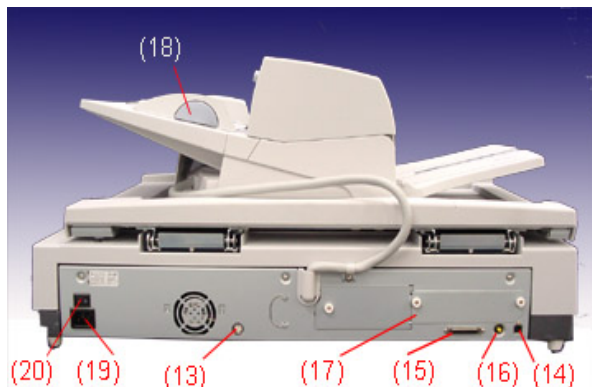
第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



1.1 各部の名称とはたらき (前頁からの続き)



No.	名称	機能
13	EXT コネクタ	オプション接続用のコネクタです。
14	USB インタフェースコネクタ	USB インタフェースケーブルを接続します。
15	SCSI インタフェースコネクタ	SCSI インタフェースケーブルを接続します。
16	SCSI ID スイッチ	SCSI ID の設定に使用します。(出荷時の設定はID=5)
17	サードパーティスロット (オプションボードスロット)	オプションボードを接続します。
18	サイドガイドボタン	サイドガイド幅を調節するときに使用します。
19	インレット	電源ケーブルを接続します。
20	電源スイッチ	電源の投入/切断に使用します。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

1.1 各部の名称とはたらき

1.2 操作パネルの機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

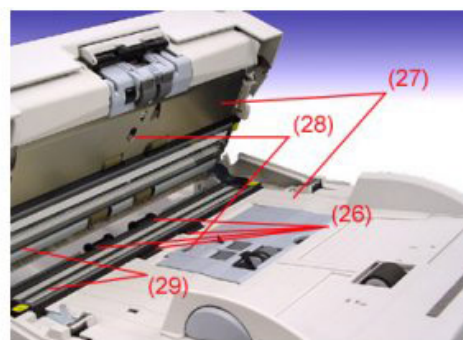
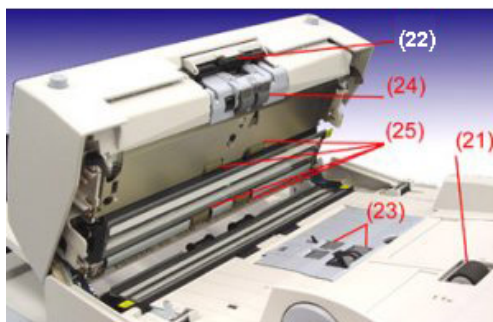
第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



1.1 各部の名称とはたらき (前頁からの続き)



No.	Name	No.	Name
21	シュートローラ(通常はカバーが閉じています)	26	プラスチックローラ
22	ピックアーム	27	シートガイド
23	ピックローラ	28	超音波センサ(マルチフィード検出)
24	プレーキローラ	29	ガラス
25	フィードローラ		

« 1 | 2 | 3 | 4 »

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

1.1 各部の名称とはたらき

1.2 操作パネルの機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

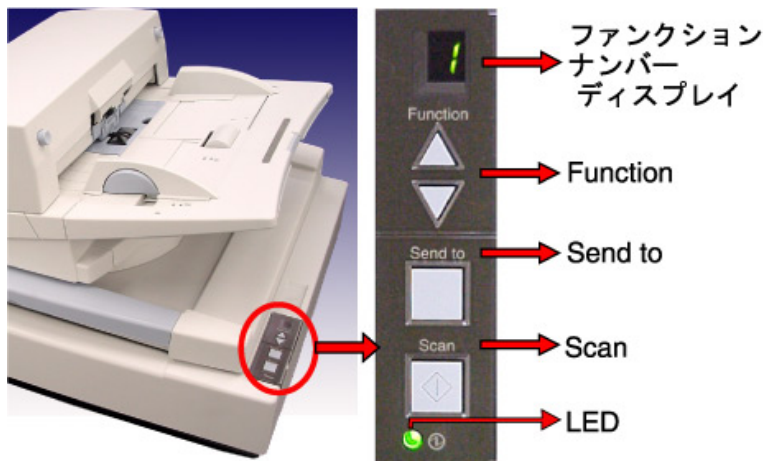
第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



1.2 操作パネルの機能



名称	機能	
ファンクションナンバーディスプレイ	装置の状態を表示します。	
ボタン	Function	Send to ボタンで使用する設定の番号を切り替えます。(で+1または で-1)
	Send to	関連付けされたアプリケーションを起動します。
	Scan	
LED	Ⓛ	スキャナの電源が投入されているときに点灯します。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



第2章 基本的な操作方法

この章では、さまざまな種類の原稿の読み取り方法について解説します。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.1 電源の投入と切断

電源ボタンが「|」側に押されている場合は、スキャナの電源がONになっており、操作パネルのLEDが緑色に点灯しています。初期化中は、ファンクションナンバーの表示が、「8」>「P」>「0」>「1」のように変わります。

「1」は初期化処理が正常に終了しスキャナが待機状態にあることを示します。電源スイッチの「O」側を押し電源を切断します。



写真は電源投入時の例を示しています。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.1 電源の投入と切断 (前頁からの続き)

低電力モード

低電力モードとは、電源投入されているスキャナが操作されない場合に使用電力を低い状態に保つモードです。スキャナの電源を投入したままで15分以上何も操作しないと、自動的に低電力モードに切り替わります。

低電力モードに切り替わると、操作パネルのファンクションナンバーディスプレイの表示が消えます。操作パネルの緑色のLEDランプは点灯したままです。

低電力モードから復帰するためには、次のいずれかの操作を行います。

- ADF給紙シュートに原稿をセットする。
- 操作パネルのボタンを押す。
- スキャナドライバからコマンドを実行する。

◀ 1 | 2 ▶

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
2.1 電源の投入と切断
2.2 ADFの設定
2.3 ADFへの原稿のセット
2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき
2.5 原稿の読み取り方法
2.6 スキャナドライバの使い方
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録



2.2 ADFの設定

以下の要領にしたがってADFの位置を設定、変更してください

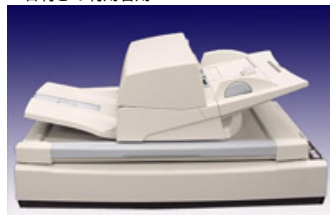


工場出荷時はfi-5750CスキャナのADFはネジで固定されています。ADFの位置を変更する前に必ずADF輸送ロックネジを取り外してください。ADFの位置は、以下の3通りに設定可能です。

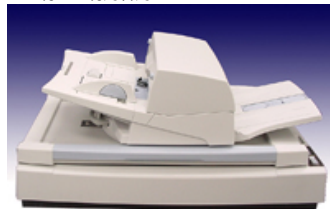
- タイプ1：トラディショナル
- ・従来のFUJITSU スキャナのスタイル
 - ・これまでの富士通製品に慣れた利用者用



- タイプ2：スタンダード
- ・省設置スペース
 - ・右利きの利用者用



- タイプ3：逆方向
- ・省設置スペース
 - ・左利きの利用者用



注記

ADFの回転は必ずスタッカを立てて行ってください。
ADFを180度を超えて回転させないでください。ADFが破損する場合があります。
位置変更後はADFが設定位置に確実にロックされたことを確認ください。



注意
ADFを動かすときに、指をはさまないように注意してください。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.3 ADFへの原稿のセット

1. 原稿をセットする前に以下を確認ください。
 - セットする原稿の幅がすべて同じであることを確認します。
 - 原稿の枚数を確認します。

セットする原稿枚数の目安は、次のとおりです。

A4以下のサイズの場合:
20 mm 以下
(80g/m2の紙で200枚)

A4を超えるサイズの場合:
10 mm 以下
(80g/m2の紙で100枚)

« 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 »»

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
2.1 電源の投入と切断
2.2 ADFの設定
2.3 ADFへの原稿のセット
2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき
2.5 原稿の読み取り方法
2.6 スキャナドライバの使い方
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録



2.3 ADFへの原稿のセット (前頁からの続き)

2. 次の手順で原稿をさばきます。



- 両手で原稿の両端を軽くつかみ、原稿を湾曲させます。
- この動作を2～3回繰り返します。
- 原稿の向きを90度回転し、同じようにさばきます。
- 原稿の端をそろえます。

« 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 »»

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

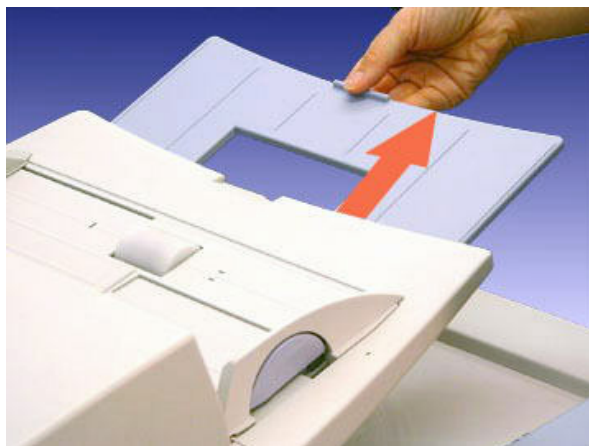
第10章 スキャナの仕様

付録



2.3 ADFへの原稿のセット (前頁からの続き)

3. ADF給紙シュートに原稿をセットします。
原稿の長さに合わせてADF給紙シュートの取っ手を引き上げてから原稿をセットします。



原稿の条件については第8章「ADFにセットする原稿について」を参照してください。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

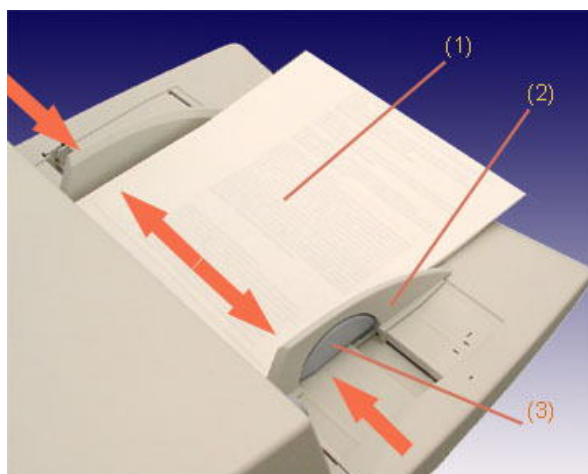
付録



2.3 ADFへの原稿のセット (前頁からの続き)

4. サイドガイドを原稿の幅に調節します。
 サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み込まれることがあります。

原稿の表面（読み取り面）がADF給紙シュート側になるように、原稿をセットします。



(1): 原稿、(2): サイドガイド、(3): サイドガイドボタン (両端)

注記

クリップ、ステーブラの針は取り除いてください。ダブルフィードやピックアップが発生する場合は、原稿の分量を減らしてください。

小さな原稿をADF給紙シュートにセットするときには、シュートローラカバーに触らないように注意してください。読み取り中にこのカバーを触ると、カバーが開いて指を挟み込むおそれがあります。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.3 ADFへの原稿のセット (前頁からの続き)

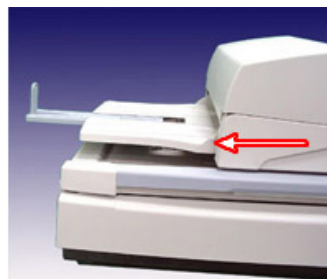
5. スタッカの延長部分を、用紙サイズに合わせて調整しストッパを立てます。



6. スタッカ位置の調節
スタッカの取り付け位置を変えることができます。通常は、下位置に取り付けます。うす紙、カール紙を読み取る際には、上位置に取り付けます。



下位置 (普通紙)



上位置 (薄紙)

注記

上位置にスタッカを取り付けると、スタック容量が減少します (80g/m²の原稿で100枚程度)。

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
2.1 電源の投入と切断
2.2 ADFの設定
2.3 ADFへの原稿のセット
2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき
2.5 原稿の読み取り方法
2.6 スキャナドライバの使い方
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 Iブション
第10章 スキャナの仕様
付録



2.3 ADFへの原稿のセット (前頁からの続き)

6. ADFへの原稿セットまでの手順を動画で確認できます。



« 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 »»

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

1. ハンドルをつかんでドキュメントカバーを開きます

注記

ADF給紙シュートおよびスタッカ上に原稿が残っていないことを確認してください。

2. 原稿の読み取り面を下向きに原稿台上置き、基準線に位置を合わせます。



3. ドキュメントカバーを静かに閉じ読み取りを開始します。



フラットベッド部では、本などの厚い原稿や、変則的な形状の原稿の読み取りを容易に行うことができます。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切斷

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

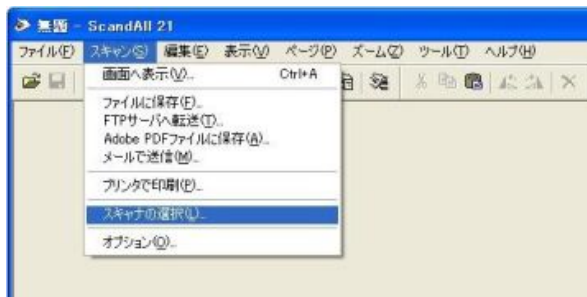
第10章 スキャナの仕様

付録



2.5 原稿の読み取り方法

1. ADF給紙シュートに原稿をセットします。原稿の長さに合わせてADF給紙シュートの取っ手を引き上げてから原稿をセットします。原稿のセット方法については「2.3 原稿のセット」を参照してください。
2. ScandAll 21を起動します。
[スタート]メニューから[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21]の順に選択します。
ScandAll 21が起動されます。
3. fi-5750Cを指定します。
[スキャン]メニューの[スキャナを選択]を選択します。



[ソースの選択] ダイアログボックスが表示されます。

「FUJITSU fi-5750Cdj」（Windows 95 およびWindows NT 4.0の場合は「FUJITSU TWAIN32」）を選択して、[選択] ボタンをクリックします。



注記

ここでは、添付の画像読み取り用アプリケーション「FUJITSU TWAIN」にする読み取り方法を説明しています。TWAIN規格に準拠したアプリケーションであれば同様に読み取ることができます。添付の「FUJITSU ISIS スキャナドライバ」を使用して読み取ることもできます。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

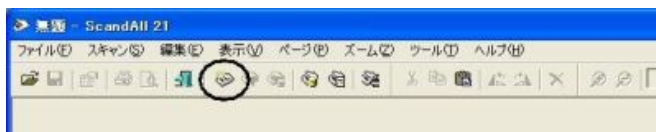
第10章 スキャナの仕様

付録



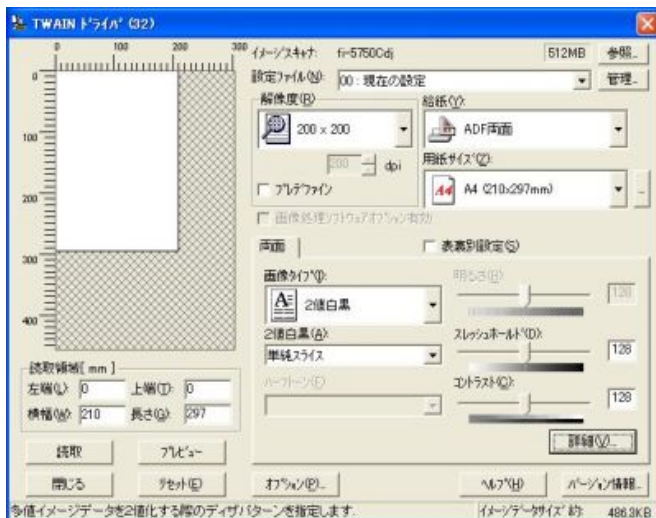
2.5 原稿の読み取り方法 (前頁からの続き)

4. ツールバーの [画面へ表示] ボタンをクリックします。



[TWAIN ドライバ] ダイアログボックス (読み取り条件を設定する画面) が表示されます。

5. 読み取り解像度、原稿サイズなどを設定して、[読取]ボタンをクリックします。
[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定については、「2.6 スキャナドライバの使い方」を参照してください。



« 1 | 2 | 3 »

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.5 原稿の読み取り方法 (前頁からの続き)

原稿が読み取られ、ScandAll 21の画面にイメージが表示されます。



これ以外のいろいろな読み取り操作については、「[第3章 用途に応じた読み取り方法](#)」を参照してください。ScandAll 21の機能・操作については、「ScandAll 21のヘルプ」を参照してください。

« 1 | 2 | 3 »

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方

2.6.1 FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ

FUJITSU TWAIN32スキャナドライバは、TWAIN規約に対応したアプリケーションを用いて、スキャナから読み取りを行うためのドライバソフトウェアです。

ここでは「ScandAll 21」を例として、FUJITSU TWAIN32スキャナドライバを使用した一般的な読み取り手順について説明します。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11...29 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

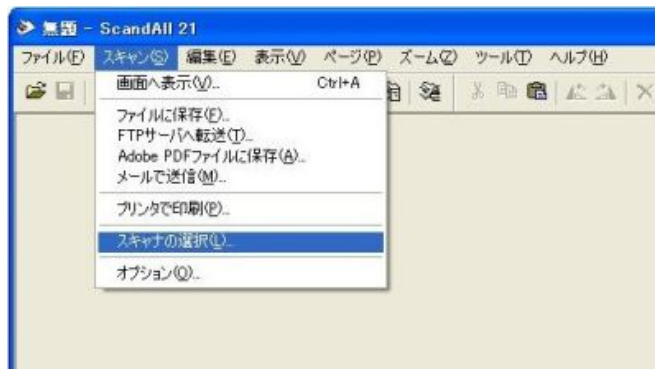
付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

1. 基本的な読み取り手順

- ScandAll 21アプリケーションを起動します。
[スタート]メニューから、[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Window] - [ScandAll 21] を選択します。
- スキャナ選択画面を表示して、使用するスキャナ名を指定します。
[スキャン]メニューの[スキャナを選択]を選択します。



◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11...29 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

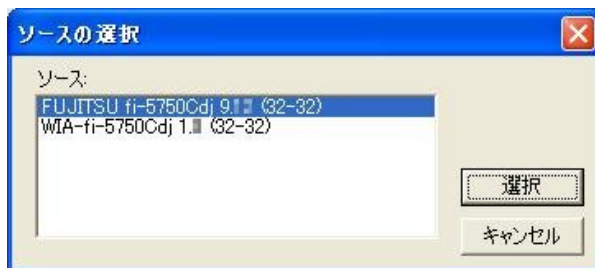
第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

3. 使用するスキャナを指定します。[スキャン]メニューの[スキャナの選択]をクリックします。



選択肢

- FUJITSU TWAIN32 V9の場合 : 「FUJITSU fi-5750Cdj」
または
- FUJITSU TWAIN32 V8の場合 : 「FUJITSU TWAIN32」

を選択して、[選択]ボタンをクリックします。

◀◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11...29 ▶▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

4. スキャナに原稿をセットします。
原稿のセット方法については「[2.3 原稿のセット](#)」を参照してください。
5. FUJITSU TWAIN32スキャナドライバ画面を起動します。
[スキャン]メニューの「画面に表示」を選択します。

[TWAINドライバ]ダイアログボックスが表示されます。

ヒント

ScandAll 21では、以下のような読み取り方法があります。

- 「画面へ表示」：読み取った画像を画面に表示します。
- 「ファイルに保存」：読み取った画像をファイル (*.BMP, *.TIF, *.JPG) に保存します。
- 「FTPサーバへ転送」：読み取った画像をFTPサーバに転送します。
- 「Acrobat PDFファイルに保存」：読み取った画像をPDFファイルにして保存します。
(あらかじめ、Adobe Acrobatをインストールしておく必要があります。)
- 「Microsoft Share Point Portal Serverへ転送」：読み取った画像をMicrosoft Share Point Portal Serverに転送します。
- 「メールで転送」：読み取った画像を添付ファイルとして、メールソフトウェアを起動します。

詳細は、ScandAll 21 のヘルプを参照してください。

◀◀ [1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#)...[29](#) ▶▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

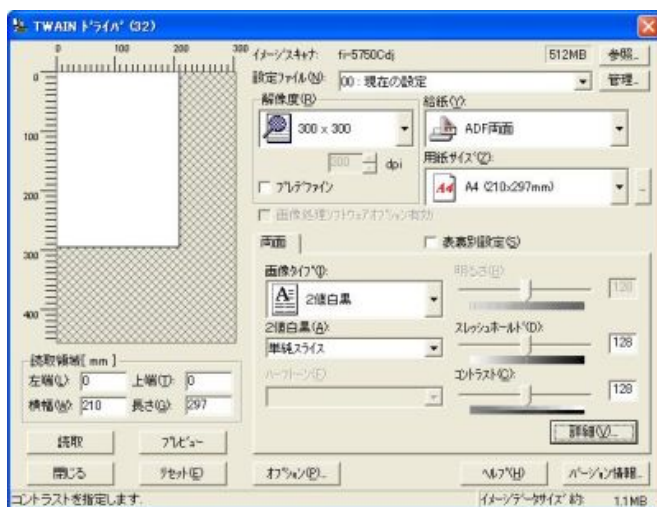
第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

6. 読み取り条件を設定して、[読取] ボタンをクリックします。

この画面で設定できる内容については、このセクションの["FUJITSU TWAIN32スキャナドライバの設定"](#)を参照してください。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#)...[29](#)

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

>>原稿が読み取られ、ScandAll 21の画面にイメージが表示されます。



アプリケーションの設定によっては、画像が表示されない場合があります。詳しくは、ご使用のアプリケーションの取扱説明書または、ヘルプを参照してください。

例) ScandAll 21の場合、「ファイルに保存」で読み取りを行うと、読み取った画像は画面には表示されません。

7. 読み取った画像を保存します。
[ファイル]メニューの「名前をつけて保存...」を選択して、読み取った画像をファイルに保存します。
続けて新しい読み取りを行う場合は、手順4に戻ってください。
8. アプリケーションを終了します。
[ファイル]メニューの「終了」を選択します。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11...29 ▶▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

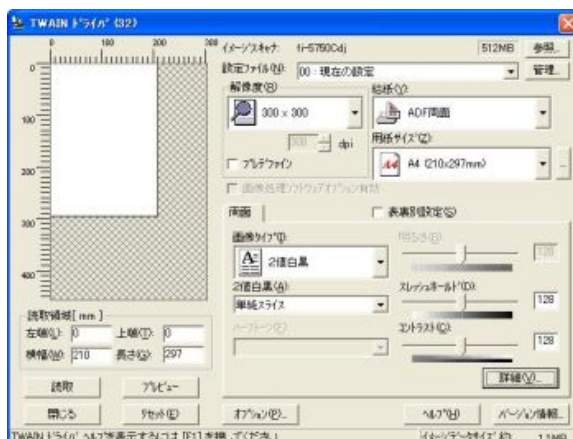
第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

2. FUJITSU TWAIN32スキャナドライバの設定



FUJITSU TWAIN ドライバの設定は、この画面で行います。

以下に、代表的な設定項目について説明します。

各機能の詳細については、「TWAINドライバヘルプ」を参照してください。([ヘルプ] ボタン、または [F1] ボタンを押すと表示されます。)

◀◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11...29 ▶▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方（前頁からの続き）

解像度

原稿を読み取る際の解像度を指定します。

定型（リストから選択）およびカスタム指定（1dpi刻みで、任意の解像度を指定）ができます。

また、「プリデファイン」をチェックすると、あらかじめ設定された、「ノーマル」、「ファイン」、「スーパーファイン」の3つの解像度

設定によって、簡単に読み取りを行うことができます。

プリデファインの設定は、[...] ボタンでお好みの設定に変更することもできます。

給紙

読み取り方法と原稿の読み取り面（表面/裏面/両面/フラットベッド）、長尺帳票（A3以上の長さの原稿）の設定を行います。

用紙サイズ

読み取る原稿のサイズを、表示されるリストの中から指定します。

[...] ボタンで、任意の原稿サイズを、最大3つまでカスタム設定として登録することができます。また、表示されるリストの並び順を変更

することもできます。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11...29 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

画像タイプ

読み取った画像を出力するイメージのタイプを指定します。

バイナリ (モノクロ2値)

白と黒の2階調で読み取ります。

ハーフトーン

白と黒の2階調で中間調処理を行って読み取ります。

グレースケール

白黒256階調で読み取ります。

カラー

カラーで読み取ります。24ビット、256色、8色の中から選びます。

[読取] ボタン

現在の設定で、読み取りを開始します。

[プレビュー] ボタン

読み取り結果を事前に確認することができます。

現在の設定で試し読みを行い、プレビューウィンドウに表示します。

[閉じる] ボタン

現在の設定を保存して、画面を閉じます。

[リセット] ボタン

変更した設定項目を元に戻します。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#)...[29](#)

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

[ヘルプ] ボタン

TWAINドライバのヘルプを表示します。[F1] ボタンでも表示することができます。

[バージョン情報] ボタン

TWAINドライバのバージョン情報を表示します。

[オプション] ボタン

以下の画面で、オプション機能の設定を行います。



◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11...29 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

[回転] タブ

両面原稿のとじ方向、画像の回転、原稿の傾き補正、原稿サイズ検出、後端検出などの設定を行います。

[動作] タブ

キャッシュ、ジョブ制御、ダブルフィード検出、ブランクページスキップなどの設定を行います。

[全般] タブ

TWAINドライバ画面に表示される単位の設定を行います。
ミリ (mm)、インチ (inch)、ピクセル (pixel) の中から選択します。

[起動] タブ

スキャナ操作パネルに関する設定を行います。
(対応機種のみ表示されます。)

[フィルタ] タブ

画像処理フィルタの設定を行います。
縁消しフィルタ：読み取った原稿の周囲余白部分を、指定した色で塗りつぶします。
デジタルエンダーサ：読み取った画像データに、アルファベットや数字などの文字列 (名前、日付、シリアル番号等) を付加します。

[圧縮] タブ

JPEG転送時の圧縮率の設定を行います。

◀◀ [1](#)…[10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#) | [16](#) | [17](#) | [18](#) | [19](#) | [20](#) | [21](#)…[29](#) ▶▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

[詳細] ボタン

画像処理に関するさらに詳細な設定を行います。
輪郭処理、ガンマ補正、下地追従、ドロップアウトカラー、白黒反転などの設定が可能です。

[管理] ボタン

設定ファイルの管理を行います。
TWAINドライバ画面で設定した内容を、[設定ファイル] に保存しておくことによって、簡単に読み取り設定を変更することができます。
[設定ファイル] に保存しておくことによって、簡単に読み取り設定を変更することができます。

各機能の詳細については、「TWAIN ドライバのヘルプ」を参照してください。

◀◀ 1...10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21...29 ▶▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

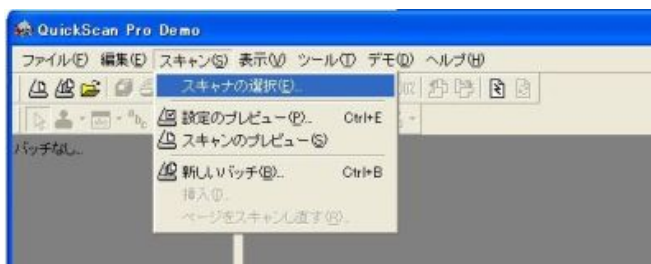
2.6.2 FUJITSU ISIS スキャナドライバ

FUJITSU ISISスキャナドライバは、ISIS規約に対応したアプリケーションを用いて、スキャナから読み取りを行うためのドライバソフトウェアです。ここではQuickScan Proを例として、FUJITSU ISISスキャナドライバを使用した一般的な読み取り手順について説明します。

お使いのアプリケーションによって操作手順が異なる場合があります。QuickScan Pro以外のアプリケーションの場合、当該アプリケーションのガイドもしくはヘルプを参照してください。

1. 基本的な読み取り手順

1. QuickScan Proアプリケーションを起動します。
[スタート]から[プログラム] - [QuickScan]の順に選択し、[QuickScan]をクリックします。
2. スキャナ選択画面を表示して、使用するスキャナ名を指定します。
メニューバーから[スキャン] - [スキャナの選択]を選びます。



◀ 1...10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21...29 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

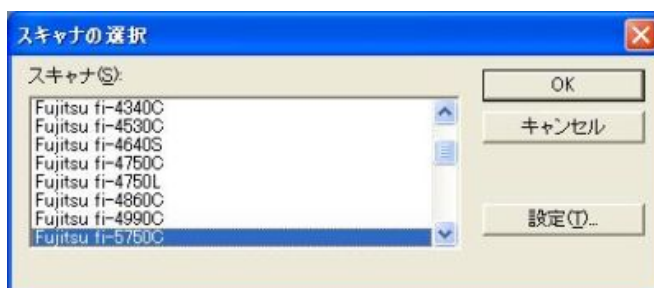
第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

3. FUJITSU fi-5750Cを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



4. メニューバーから [スキャン] - [新しいバッチ...] を選択します。

◀◀ [1](#)...[10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#) | [16](#) | [17](#) | [18](#) | [19](#) | [20](#) | [21](#)...[29](#) ▶▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

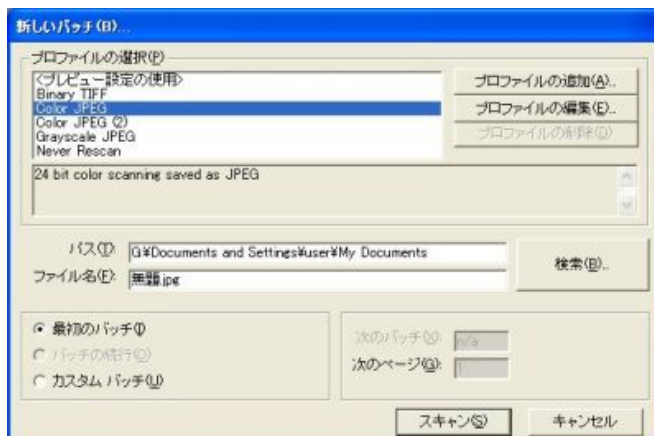
第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

5. 以下の画面が表示されるので、プロファイルを選択します。



- 新しくプロファイルを作成する場合
既存のプロファイルの中から一つを選択して、[プロファイルの追加...] ボタンをクリックします。
選択したプロファイルを基に、新規プロファイルが作成されます。
- 既存のプロファイルの設定を変更して使用する場合
既存のプロファイルの中から一つを選択して、[プロファイルの編集...] ボタンをクリックします。
選択したプロファイルの設定が変更されます。
- 既存のプロファイルを使用する場合
既存のプロファイルの中から一つを選択します。
選択したプロファイルの設定で、読み取りを行います。 手順 10 に進んでください。

◀◀ 1...10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21...29 ▶▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

6. [スキャン]タブを選択し、[スキャナの設定] ボタンをクリックします。



>> FUJITSU ISIS スキャナドライバのダイアログが表示されます。

◀◀ 1...10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21...29 ▶▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

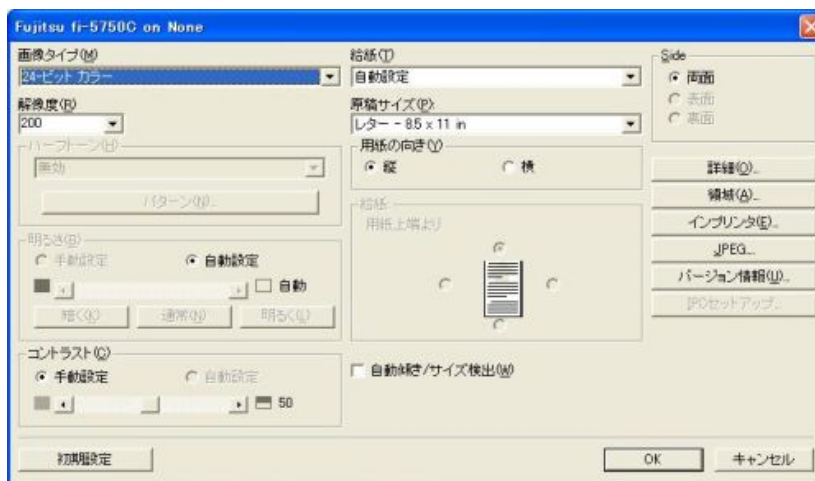
第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

7. 必要な項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

このダイアログボックスの詳細については、「[FUJITSU ISISスキャナドライバの設定](#)」を参照してください。

[1](#)...[10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#) | [16](#) | [17](#) | [18](#) | [19](#) | [20](#) | [21](#)...[29](#)

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

8. [プロファイルエディタ] ダイアログが表示されます。[新しいバッチ...] ダイアログに戻る場合は、[OK] ボタンをクリックします。

注記

必要に応じて、プロファイルの設定を変更します。
QuickScanの操作方法に関する詳細は、「QuickScan概要」または「QuickScanヘルプ」を参照してください。QuickScanのインストールが完了すると、[スタート]メニューに登録されます。

9. スキャナに原稿をセットします。

◀◀ 1...10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21...29 ▶▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

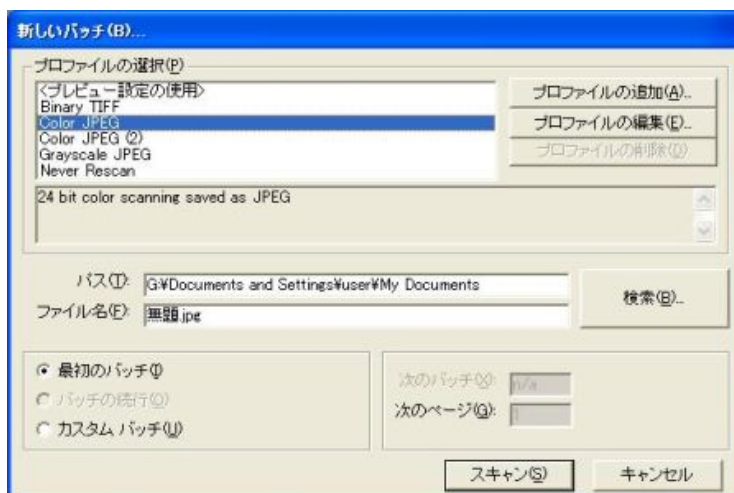
第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

10. [スキャン] ボタンをクリックします。



>> 読み取られた画像が画面に表示されます。

11. アプリケーションを終了します。
[ファイル]メニューの「終了」を選択します。

QuickScanの操作方法に関する詳細は、「QuickScan概要」または「QuickScanヘルプ」を参照してください。QuickScanのインストールが完了すると、[スタート]メニューに登録されます。

◀ 1...10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21...29 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

画像タイプ

メニューから使用する色調モードを選択します。以下のモードが設定できます。

バイナリ (モノクロ2値)

白黒2値のしきい値にしたがって原稿を読み取ります。設定したしきい値に従って白と黒が判別されます。このモードは線画や文字の読み取りに適しています。

16-階調グレースケール

原稿は14段階の中間階調と白黒の2階調で読み取ります。このモードでは1ピクセルあたり4ビットを使用します。

256-階調グレースケール

原稿は254段階の中間階調と白黒の2階調で読み取ります。このモードでは1ピクセルあたり8ビットを使用します。このモードは白黒写真の読み取りに適しています。

24-ビットカラー

原稿は24ビットフルカラーで読み取られます。このモードはカラー写真の読み取りに適していますが、グレースケールモードよりメモリを消費します。

画像処理

このモードを利用するには、別売りの画像処理ソフトウェアオプションがインストールされている必要があります。詳しくは「画像処理ソフトウェアオプション取扱説明書」を参照してください。

解像度

1インチあたりのピクセル数(ドット数)を指定します。

指定には、あらかじめ設定された解像度を一覧から選択するか、50から600の間の値を入力します。

解像度が高いほど精細な画像が得られますが、消費されるメモリも増加し、処理時間がかかります。

◀ 1...10 | 11...20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

ハーフトーン

リストからハーフトーンのパターンを選択します。この項目は画像タイプで2値白黒が設定されている場合に有効になります。

濃い写真画像用

色調の濃い写真の読み取りに適しています。

濃い文字 + 写真混在用

文字と写真を含んだ色調の濃い原稿の読み取りに適しています。

淡い写真画像用

淡い色調の写真の読み取りに適しています。

淡い文字 + 写真混在用

文字と写真を含んだ色調の濃い原稿の読み取りに適しています。

誤差拡散法

ピクセル間の格差が最小化されます。このモードは写真の読み取りに適しています。

ダウンロード

ダウンロードしたディザパターンを用いて処理をおこないます。

明るさ

1 (最も暗い) から255 (最も明るい) までの値でイメージ全体の明るさを設定します。画像を明るくするには値を高くし、暗くするには値を低く設定します。

◀ 1...10 | 11...20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

コントラスト

読み取った画像のコントラストを設定します。1 (ソフト) から255 (シャープ) までの値でイメージ全体の明るさを設定します。1 (ソフト) から255 (シャープ) までの値でイメージ全体の明るさを設定します。陰影を際立たせる場合は値を高く設定します。

給紙

読み取り方法を指定します。

ADF (表面)

原稿の表面だけを読み取ります。

ADF (裏面)

原稿の裏面だけを読み取ります。

ADF (両面)

原稿の各ページの表裏両面を同時に読み取ります。この方法は両面読み取りをサポートしているスキャナでのみ利用可能です。またお使いのアプリケーションが「連続読み取り」をサポートしている必要があります。「連続読み取り」がサポートされていない場合、原稿の表面のデータだけがアプリケーションに送られます。

フラットベッド

フラットベッドに置かれた原稿を読み取ります。

◀ 1...10 | 11...20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

原稿サイズ

読み取る原稿のサイズを指定します。リストの中から任意のサイズを選択します。

用紙の向き

原稿の向き（縦または横）を指定します。

自動傾き / サイズ検出

読み取る原稿のページサイズを自動検出し、読み取った画像をそのサイズで出力します。また原稿の傾きも自動に検出・補正し、イメージを出力します。また原稿の傾きも自動で検出・補正し、イメージを出力します。

[詳細...] ボタン

[詳細設定] ダイアログボックスを表示します。その他のオプション機能の設定に使用します。

◀◀ 1...10 | 11...20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 ▶▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

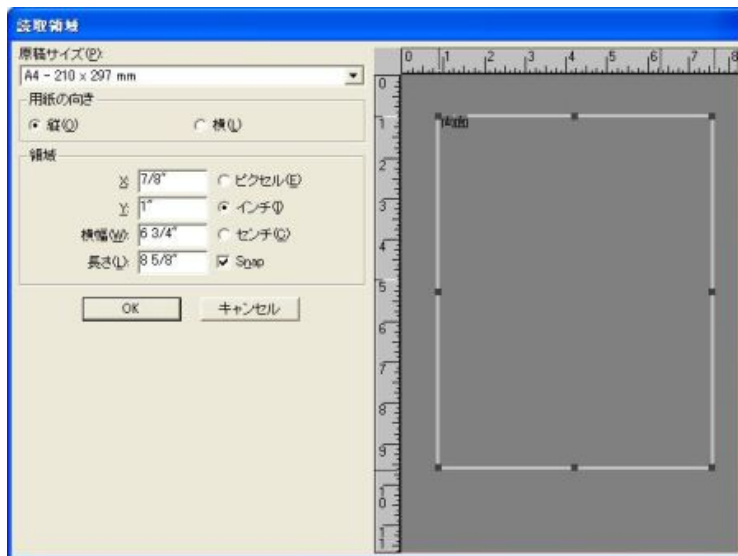
付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

[領域] ボタン

[読取領域] ダイアログボックスを表示します。
原稿サイズを設定します。
サイズは枠をドラッグして設定することができます。
あるいは寸法を入力して設定することもできます。



[1](#)...[10](#) | [11](#)...[20](#) | [21](#) | [22](#) | [23](#) | [24](#) | [25](#) | [26](#) | [27](#) | [28](#) | [29](#)

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

[JPEG...] ボタン

[JPEG設定] ダイアログボックスを表示します。JPEG転送時の圧縮率の設定を行います。



[バージョン情報] ボタン

バージョン情報を表示します。

[1...10](#) | [11...20](#) | [21](#) | [22](#) | [23](#) | [24](#) | [25](#) | [26](#) | [27](#) | [28](#) | [29](#)

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

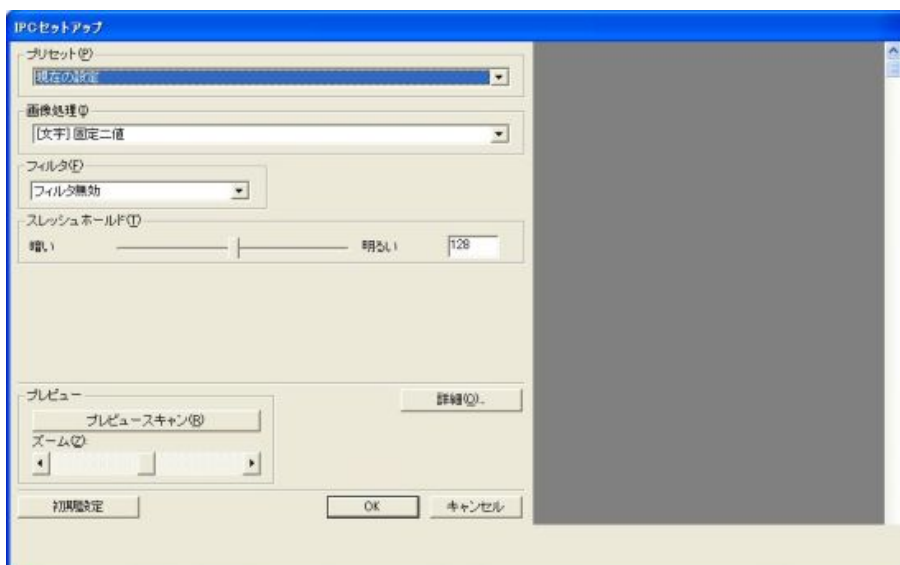
付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

[IPC セットアップ] ボタン

画像処理ダイアログボックスを表示します。このボタンは別売りの「画像処理ソフトウェアオプション」がインストールされている場合に機能します。詳細については画像処理ソフトウェアオプションに添付の取扱説明書を参照してください。



後端検出

読み取る原稿の後端を検出し、原稿長さ分の読み取りをおこないます。短いページが原稿に含まれる場合は、そのサイズにあわせて出力するイメージを調整します。

◀ 1...10 | 11...20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

オーバースキャン

オーバースキャン機能の設定をおこないます。[原稿サイズ]で指定した原稿サイズより大きめに読み取ります。

ガンマ

ガンマ補正の設定をおこないます。補正パターンには、なし、ソフト、ハード、ダウンロード、カスタムの5通りの設定が可能です。

分散値

画像の明るさに応じて分散値を設定します。

輪郭処理

読み取った画像のシャープさを指定します。

弱、中、強

画像の輪郭を強調します。弱、中、強、の設定が可能です。

スムージング

画像のギザギザを無くします。

◀ 1 | 10 | 11 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

2.1 電源の投入と切断

2.2 ADFの設定

2.3 ADFへの原稿のセット

2.4 フラットベッドで原稿を読み取りたいとき

2.5 原稿の読み取り方法

2.6 スキャナドライバの使い方

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



2.6 スキャナドライバの使い方 (前頁からの続き)

ドロップアウトカラー

指定した色（光の3原色：赤、青、緑が選択可能）を読み取った画像から消します。たとえば原稿に緑色の枠で囲まれた黒い文字がある場合、文字だけを読み取って緑色の枠を消すように設定ができます。

反転

読み取った画像の白と黒を反転します。

背景

背景色を指定します。背景色切替え機構をもったスキャナ装置でのみ使用可。fi-5750Cでは使用可。

低電力設定

スキャナが低電力モードに切り替わるまでの待ち時間を設定します。

ダブルフィード検出

ダブルフィードとは2枚以上の原稿が同時にADFに給紙された場合に発生するエラーです。ダブルフィードの検出条件を設定して、検出時に読み取りを停止してエラーメッセージを表示させることが可能です。ダブルフィード検出は原稿の長さあるいは厚さをチェックして行います。

◀ 1...10 | 11...20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



第3章 用途に応じた読み取り方法

この章では、用途に応じたさまざまな読み取り方法をFUJITSU TWAIN 32 スキャナドライバを用い説明します。

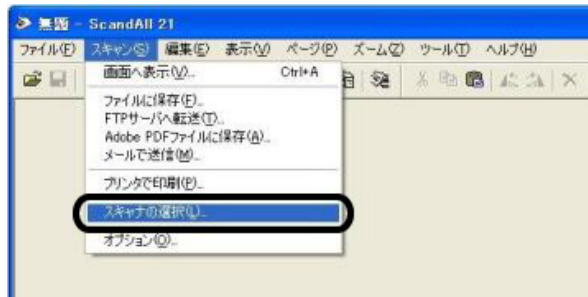
目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
3.1 両面を一度に読み取りたいとき
3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき
3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき
3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき
3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカラー)
3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき
3.7 ダブルフィードを検出したいとき
3.8 原稿の傾きを自動補正したいとき
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録



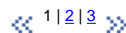
3.1 両面を一度に読み取りたいとき

1. ADF給紙シュートに原稿をセットします。
原稿のセット方法については「2.3 原稿のセット」を参照してください。
2. ScandAll 21を起動します。
[スタート]メニューから [プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21] の順に選択します。
ScandAll 21 が起動されます。
3. スキャン]メニューの [スキャナの選択] を選択します。



[ソースの選択] ダイアログボックスが表示されます。

4. 使用するスキャナを選択します。
「FUJITSU fi-5750Cdj」(Windows 95 およびWindows NT 4.0 の場合は「FUJITSU TWAIN32」) を選択して、[選択] ボタンをクリックします。



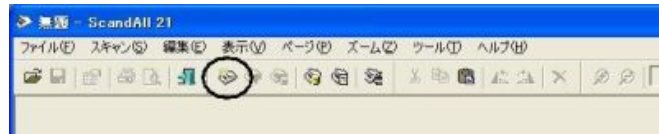
目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
3.1 両面を一度に読み取りたいとき
3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき
3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき
3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき
3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）
3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき
3.7 ダブルフィードを検出したいとき
3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録



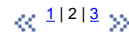
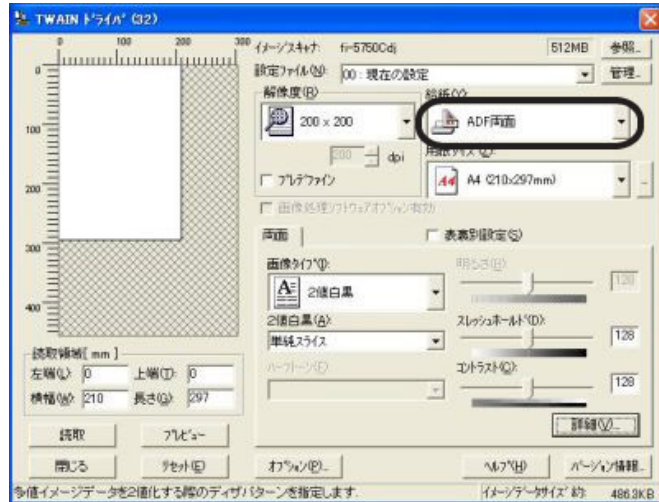
3.1 両面を一度に読み取りたいとき (前頁からの続き)

5. ツールバーの [画面へ表示] ボタンをクリックします



>> [TWAINドライバ] ダイアログボックスが表示されます。

6. [給紙] から [ADF両面] を選択します。



目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカラー)

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



3.1 両面を一度に読み取りたいとき(前頁からの続き)

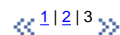
7. [読取] ボタンをクリックします。

>> 読み取られた画像がScandAll 21の画面に表示されます。

ヒント

ScandAll 21 の機能・操作については [ScandAll 21 ヘルプ] を参照してください。

[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定については、2.5 「スキャンドライバの使い方」を参照してください。



目次

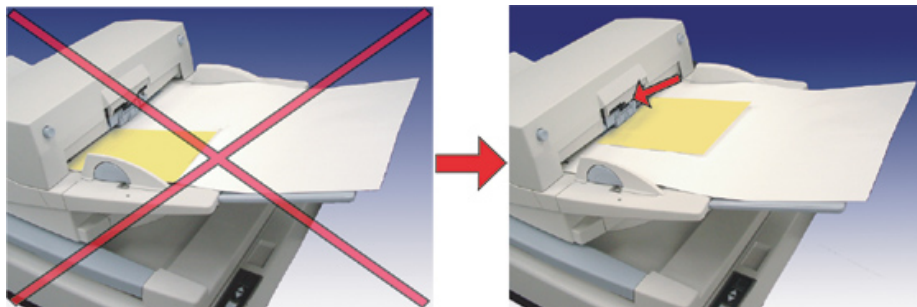
はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
3.1 両面を一度に読み取りたいとき
3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき
3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき
3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき
3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）
3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき
3.7 ダブルフィードを検出したいとき
3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録



3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

サイズの違う原稿をADFで一度にまとめて読み取ると、サイズの小さな原稿が傾いて読み取られることがあります。同じ幅の原稿をまとめて読み取りを行うようにしてください。読み取り画像の傾きを防止するには[自動傾き / サイズ検出]機能を使用してください。詳細については「3.10 原稿の傾きを自動で補正したいとき」を参照してください。

1. サイドガイドを原稿の幅に調節します。
2. 原稿の端をそろえます。
3. 図のように、小さい原稿がローラに触れないようにセットされてしまうと、ADFに原稿が繰り込まれません。必ずすべての原稿がローラに触れるようにセットしてください。



原稿のセット方法については「2.3 原稿のセット」を参照してください。

**注意**

小さな原稿をADF給紙シュートにセットする時にはシュートローラカバーに触らないよう注意してください。読み取り中にこのカバーに触るとカバーが開き指を挟み込むおそれがあります。

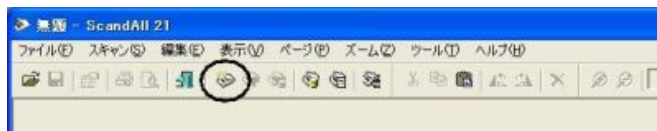
目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
3.1 両面を一度に読み取りたいとき
3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき
3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき
3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき
3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカー)
3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき
3.7 ダブルフィードを検出したとき
3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録



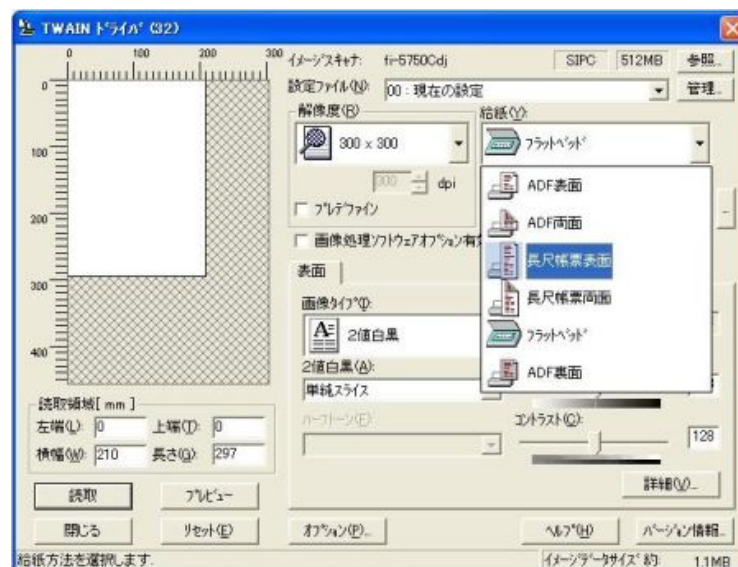
3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

1. ADF給紙シュートに原稿をセットします。
原稿のセット方法については「2.3 原稿のセット」を参照してください。
2. サイドガイドを原稿の幅に調節します。
3. ScandAll 21を起動します。
[スタート]メニューから[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21]の順に選択します。
ScandAll 21 が起動されます。
4. fi-5750Cを指定します。
5. ツールバーの[画面へ表示]ボタンをクリックします。



>> [TWAINドライバ]ダイアログボックスが表示されます。

6. [給紙]から[長尺帳票表面]または[長尺帳票両面]を選択します。長尺帳票用紙サイズ設定画面が表示されます。



7. 帳票のサイズを設定し、[OK]をクリックします。



8. [読取]ボタンをクリックします。
FUJITSU TWAIN ドライバの設定については、「2.5 スキャナドライバの使い方」を参照してください。

原稿が読み取られ、ScandAll 21の画面にイメージが表示されます。ScandAll 21の機能・操作については[ScandAll 21 ヘルプ]を参照してください。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 薄い原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカラー)

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

読み取った画像をPDF形式で保存するときは、お使いのパソコンにAdobe Acrobat 6.0をインストールしてください。Adobe Acrobat 6.0は、付属のAdobe Acrobat 6.0 CD-ROMからインストールできます。

ヒント

Adobe Acrobat 6.0のインストール方法については「fi-5750C スタートアップガイド」を参照してください。

1. ScandAll 21 からおこなう方法
カラーおよびグレースケールで読み取る場合にお勧めいたします。PDFのデータサイズを小さくすることができます。特別な操作を必要とせず、簡単にPDFを作成できます。
2. Adobe Acrobat 6.0 からおこなう方法
PDFを短時間で作成したいとき、およびバイナリ(モノクロ2値)で読み取る場合にお勧めいたします。この方法では、PDF(読み取った解像度のまま)を短時間で作成できます。また、PDFの圧縮率を変更することで、任意のデータサイズで作成できます。

カラー原稿の場合、通常の方法ではデータサイズが大きくなります。保存する前にAcrobatDistillerを使用することで、データサイズを大幅に小さくすることができます。

« 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 »»

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 薄い原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカラー)

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

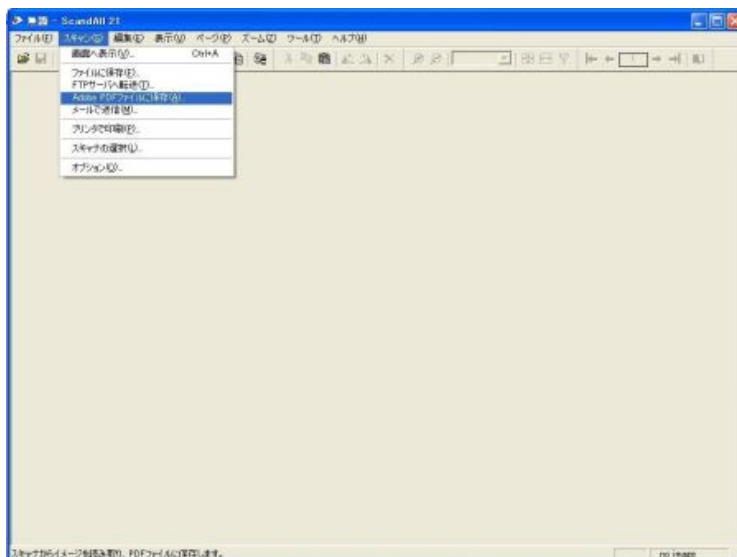
付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき (前頁からの続き)

3.4.1 ScandAll 21 で作成する方法

1. ADF給紙シュートに原稿をセットします。
2. ScandAll 21を起動します。
[スタート]メニューから、[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21]の順に選択します。ScandAll 21が起動します。
3. [スキャン(S)]メニューの [Adobe PDFファイルに保存(A)...] を選択します。



>> [TWAINドライバ] ダイアログボックスが表示されます。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 ▶

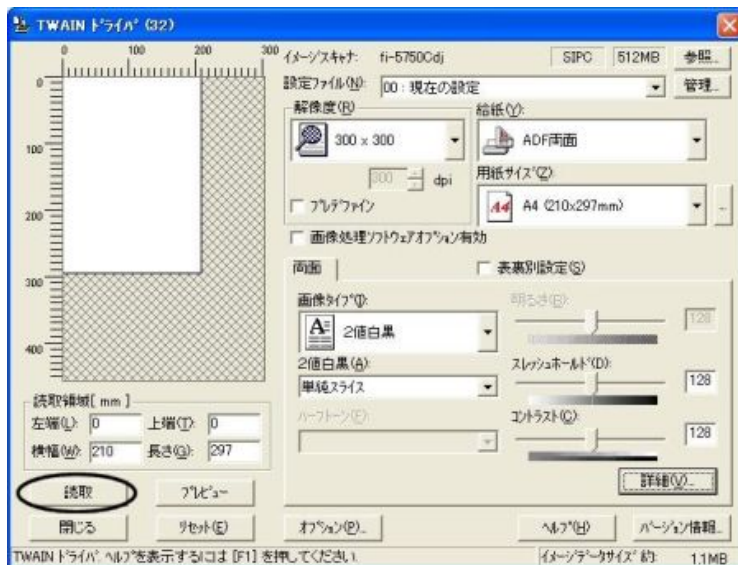
目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
3.1 両面を一度に読み取りたいとき
3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき
3.3 薄い原稿を読み取りたいとき
3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき
3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき
3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカラー)
3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき
3.7 ダブルフィードを検出したいとき
3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき (前頁からの続き)

4. 読み取り解像度、原稿サイズなどを設定して、[読取]ボタンをクリックします。



1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 薄い原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき (前頁からの続き)

5. 読み取りを終了するときは、[閉じる] ボタンをクリックします。
>> 読み取った画像が表示されます。
6. ファイル名と保存先を指定して、読み取ったデータを保存します。
詳細は、ScandAll 21 のヘルプを参照してください。



◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 薄い原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

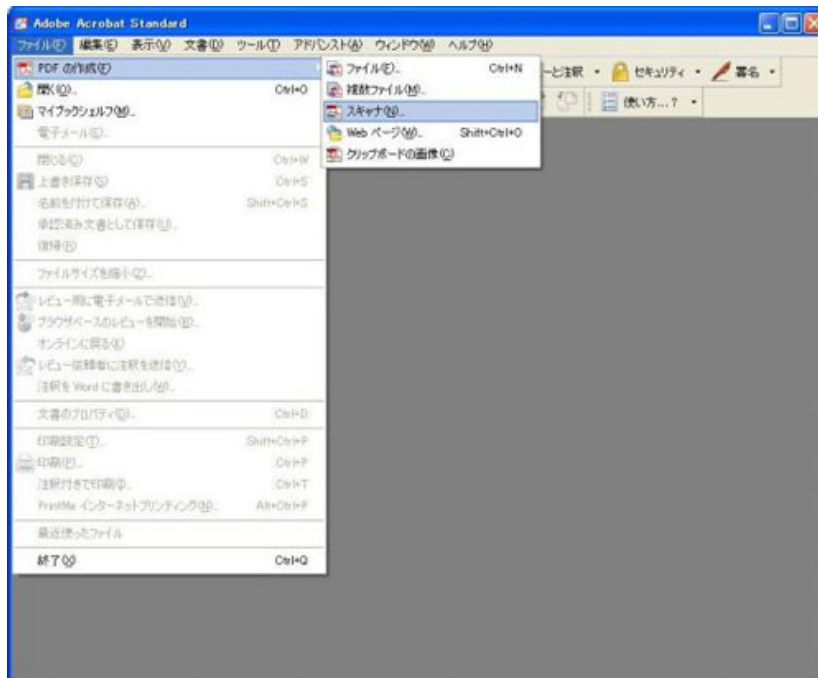
付録



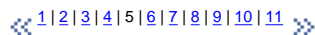
3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき（前頁からの続き）

3.4.2 Adobe Acrobat 6.0 からおこなう方法

1. ADF給紙シュートに原稿をセットします。
2. Adobe Acrobat 6.0を起動します。
[スタート]メニューから、[プログラム] - [Adobe Acrobat 6.0]の順に選択します。Adobe Acrobat 6.0が起動します。
3. [ファイル]メニューから、[PDFの作成] - [スキャナ]の順に選択します。



>> [スキャナからPDFを作成] ダイアログボックスが表示されます。



目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 薄い原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカラー)

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき (前頁からの続き)

4. [デバイス]に、[FUJITSU fi-5750Cdj] (Windows NT 4.0の場合は [FUJITSU TWAIN 32]) を指定して、[スキャン] ボタンをクリックします。



>> [TWAIN ドライバ] ダイアログボックスが表示されます。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 ▶

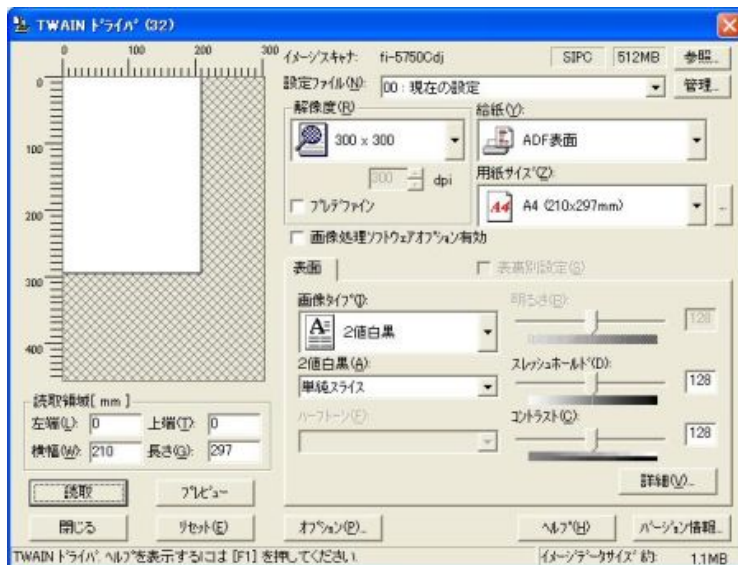
目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
3.1 両面を一度に読み取りたいとき
3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき
3.3 薄い原稿を読み取りたいとき
3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき
3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき
3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）
3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき
3.7 ダブルフィードを検出したいとき
3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき (前頁からの続き)

5. 読み取り解像度、原稿サイズなどを設定して、[読み取り]ボタンをクリックします。



◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき (前頁からの続き)

6. 読み取りを終了するときは、[完了] ボタンをクリックします。



>> 読み取った画像が表示されます。



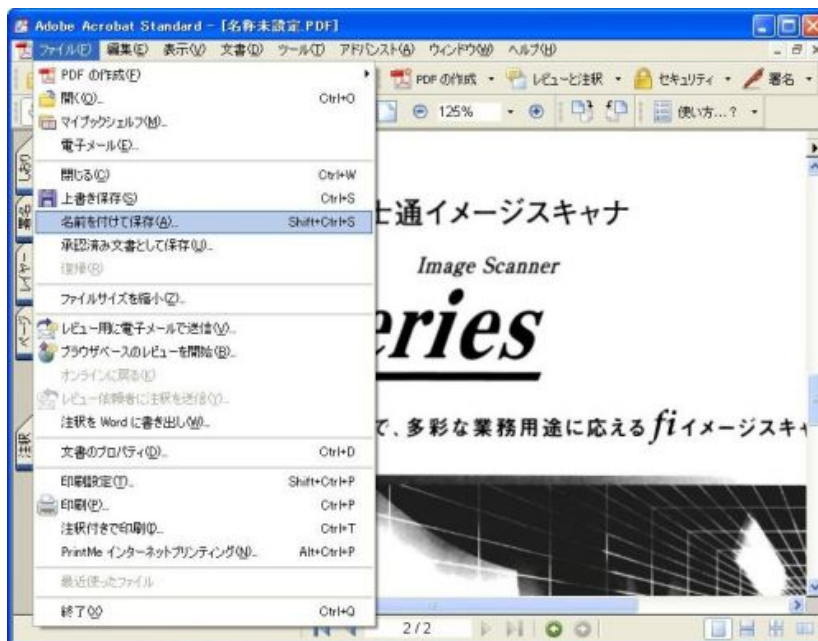
目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
3.1 両面を一度に読み取りたいとき
3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき
3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき
3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき
3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）
3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき
3.7 ダブルフィードを検出したいとき
3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき (前頁からの続き)

7. [ファイル]メニューから、[名前を付けて保存]もしくは[上書き保存]を選択して読み取ったデータを保存します。



Adobe Acrobat 6.0の操作については、Adobe Acrobat 6.0のヘルプを参照してください。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 ▶

目次

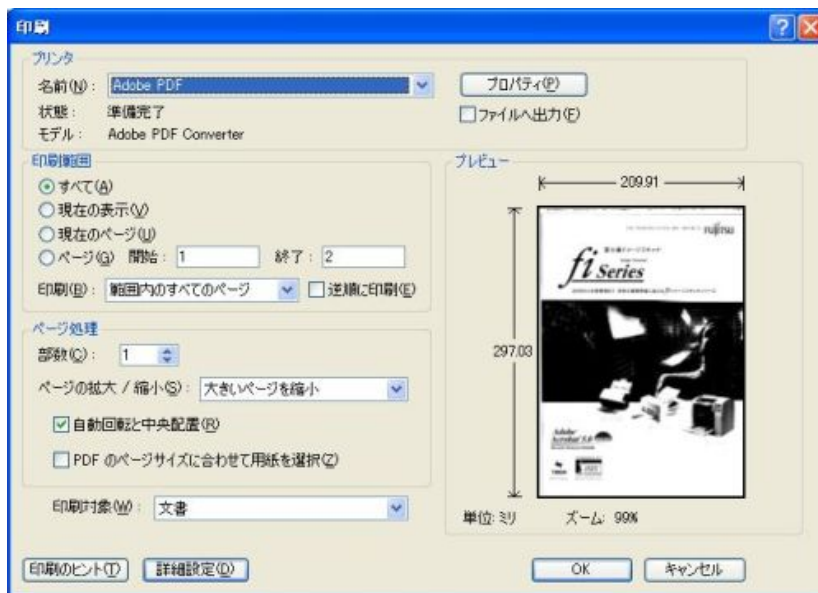
はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
3.1 両面を一度に読み取りたいとき
3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき
3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき
3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき
3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカラー)
3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき
3.7 ダブルフィードを検出したいとき
3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき (前頁からの続き)

ヒント: 上記の方法で画像を保存すると、データサイズが非常に大きくなる場合があります。データサイズを小さくしたい場合は、下記の方法で保存してください。(ただし、保存の際に通常よりも時間がかかります。)

1. [ファイル(F)] - [印刷(P)...] を選択します。
2. 以下の画面が表示されますので、[プリンタ名(N):] に「Adobe PDF」を指定します。



◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

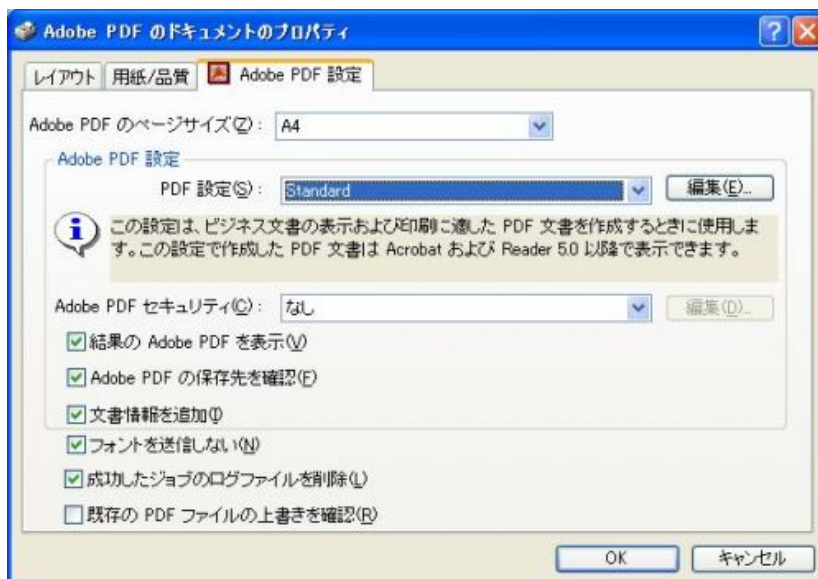
第10章 スキャナの仕様

付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき (前頁からの続き)

3. [プロパティ]をクリックします。
4. [Adobe PDF 設定]タブをクリックします。
5. ジョブオプションを選択します。
ここでは、一例として [CJKScreen] を選択します。



6. [OK] ボタンをクリックします。
7. [PDFファイルの保存] 画面が表示されます。任意のファイル名を指定し、[保存] ボタンを押して保存します。

« 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 »

目次

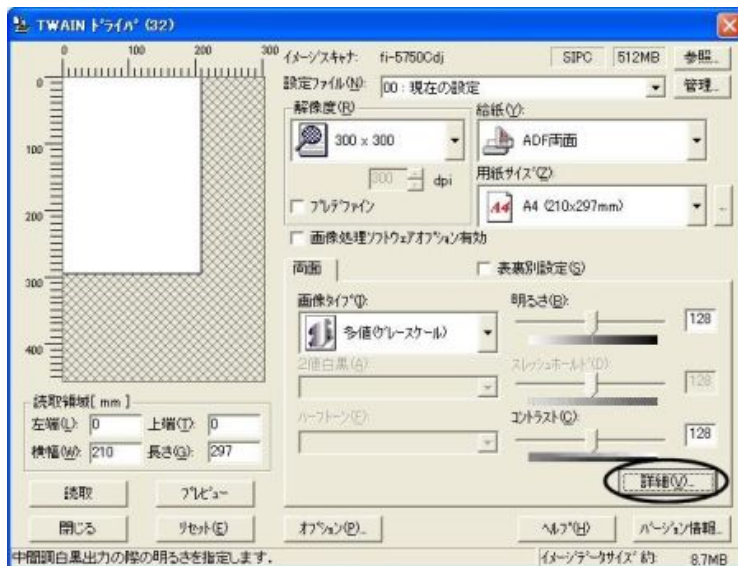
はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
3.1 両面を一度に読み取りたいとき
3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき
3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき
3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき
3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカラー)
3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき
3.7 ダブルフィードを検出したいとき
3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカラー)

緑、赤、青(光の三原色)の中から、選択した色情報を除いて読み取ることができます。たとえば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の黒い文字の部分だけを読み取ることができます。

色情報を除いて読み取るときは、[TWAIN ドライバ]ダイアログボックスの設定を変更して読み取ります。

1. [TWAIN ドライバ]ダイアログボックスの[詳細]ボタンをクリックします。



>> [詳細]ダイアログボックスが表示されます。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカラー)

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

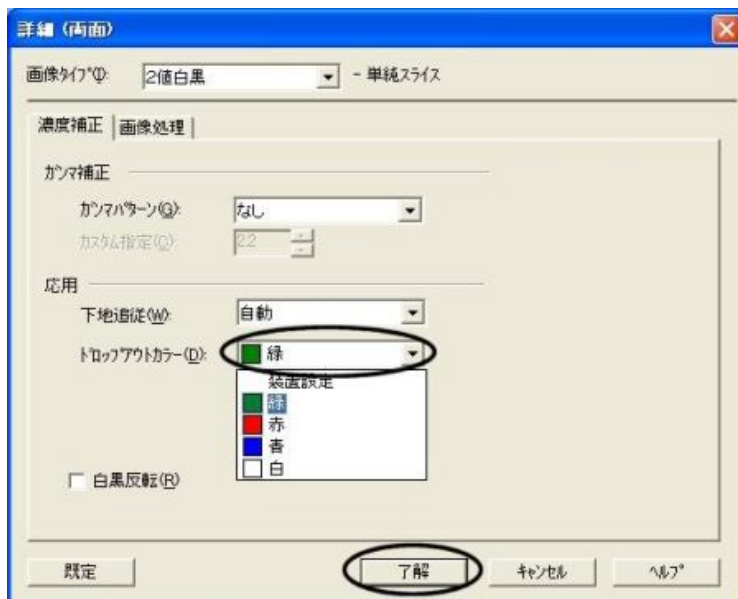
第10章 スキャナの仕様

付録



3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカラー) (前頁からの続き)

- [応用]の[ドロップアウトカラー]から、除きたい色を指定します。たとえば、緑色の枠がついた黒い文字の原稿を読み取る場合で、黒い文字の部分だけを読み取りたいときは、[緑]を指定します。



- [了解] ボタンをクリックします。
画面が[TWAIN ドライバ]ダイアログボックスに戻ります。続けて、読み取り操作をしてください。

◀ 1 | 2 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

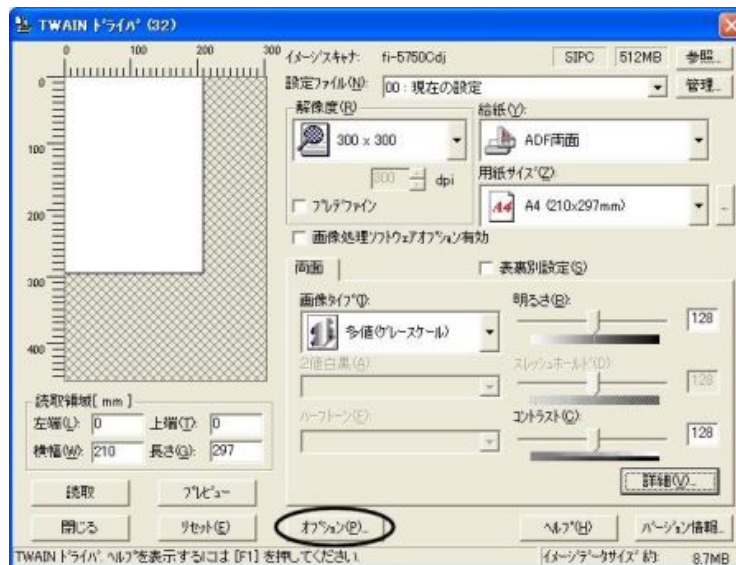
付録



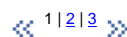
3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

空白ページを除いて読み取るときは、[TWAIN ドライバ]ダイアログボックスの設定を変更して読み取ります。

1. [TWAIN ドライバ]ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックします。



>> [オプション]ダイアログボックスが表示されます。



目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき (前頁からの続き)

2. [動作] タブをクリックします。



目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき (前頁からの続き)

- [キャッシュモード]で、[ホストPC内メモリ使用]を選択します。
- スライダーバーを使って、ブランクページスキップの度を調整します。

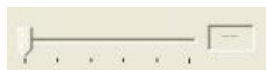
< 2 値白黒、ハーフトーン設定の場合 >



白紙の場合は [白背景原稿 (B)]、黒紙の場合は [黒背景原稿] のスライダにてスキップ条件の設定を行います。スライダ右に表示される数値はゴミ分布率(*1)を表し、読み取った原稿がこの数値以下の場合にブランクページと認識します。設定範囲は、OFF(-)および0.2 ~ 3.0 % (0.2 刻み)になります。

*1 : 読取領域に対する黒点の占める割合 (白紙の場合)

< カラー、グレースケール設定の場合 >



1 ~ 5 の5段階で、ブランクページ (白紙) のスキップ条件を設定します。値が大きくなるほどスキップしやすくなります。

« 1 | 2 | 3 »

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカラー)

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録

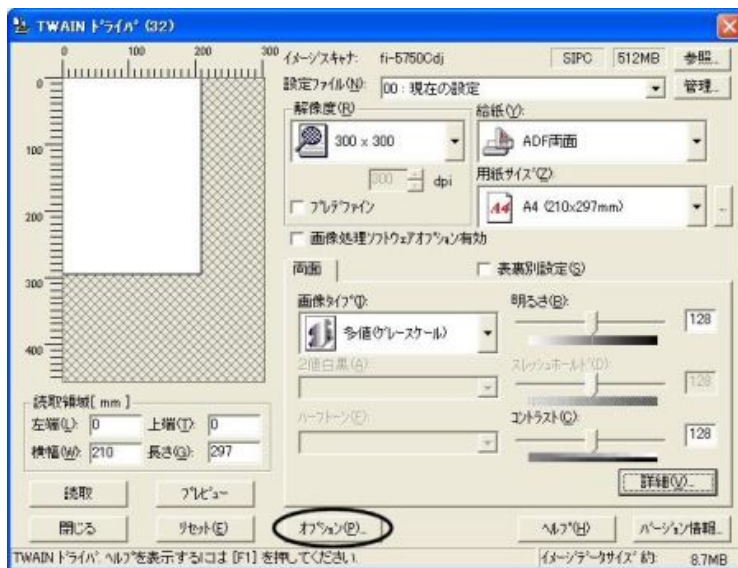


3.7 ダブルフィードを検出したいとき

ダブルフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADF給紙シュートに送り込まれてしまう現象のことです。ダブルフィードを検出し、エラーメッセージを表示するようにスキャナ設定することができます。

ダブルフィードの設定は、[TWAINドライバ]ダイアログボックスの設定を変更しておこないます。

1. [TWAINドライバ]ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックします。



>> [オプション]ダイアログボックスが表示されます。

« 1 | 2 | 3 »»

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

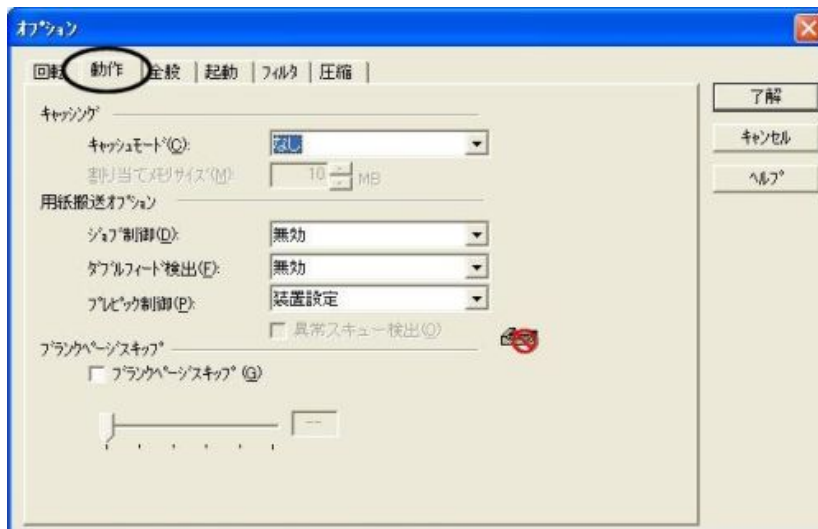
第10章 スキャナの仕様

付録



3.7 ダブルフィードを検出したいとき (前頁からの続き)

2. [動作] タブをクリックします。



目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



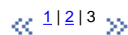
3.7 ダブルフィードを検出したいとき (前頁からの続き)

3. [用紙搬送オプション]の[ダブルフィード検出]から、検出条件を指定します。次の検出条件があります。

無効	ダブルフィード検出をおこないません。
重なりを検出	原稿の厚さを監視し、原稿が重なって搬送されたときの厚さの変化によってダブルフィード検出をおこないません。
長さの違いを検出	原稿の長さを監視します。原稿が重なって搬送されたときの原稿の長さの変化によってダブルフィード検出をおこないません。
重なりと長さの違いを検出	重なりと長さの両方を監視し、ダブルフィード検出をおこないます。

4. [了解]ボタンをクリックします。[TWAINドライバ]ダイアログボックスに戻ります。続けて、読み取り操作をしてください。

なお、ダブルフィード検出条件の詳細については、8.5「ダブルフィードの検出条件」を参照してください。



目次

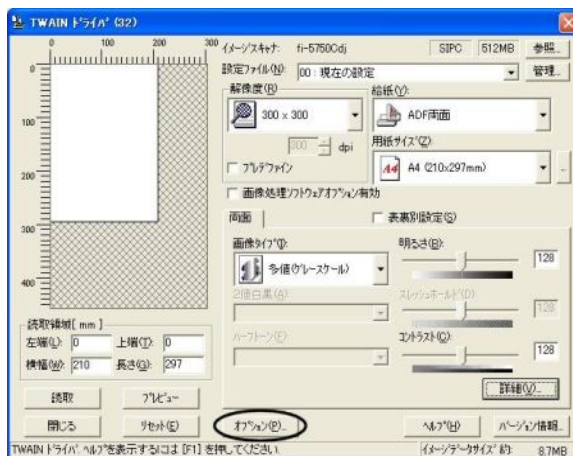
はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
3.1 両面を一度に読み取りたいとき
3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき
3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき
3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき
3.5 色情報を除いて読み取りたいとき（ドロップアウトカラー）
3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき
3.7 ダブルフィードを検出したいとき
3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

原稿を読み取る際ADF内へ原稿が傾いて送り込まれた場合は、自動で傾きを検出・補正して出力することができます。

自動傾き検出は、[TWAINドライバ]ダイアログボックスの設定を変更しておこないます。以下に[TWAINドライバ]ダイアログボックスの設定を変更する手順を示します。

1. [TWAIN ドライバ]ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックします。



>> [オプション]ダイアログボックスが表示されます。

2. [回転]タブをクリックします。

<< 1 | 2 >>

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 色情報を除いて読み取りたいとき (ドロップアウトカラー)

3.6 空白ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 ダブルフィードを検出したいとき

3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

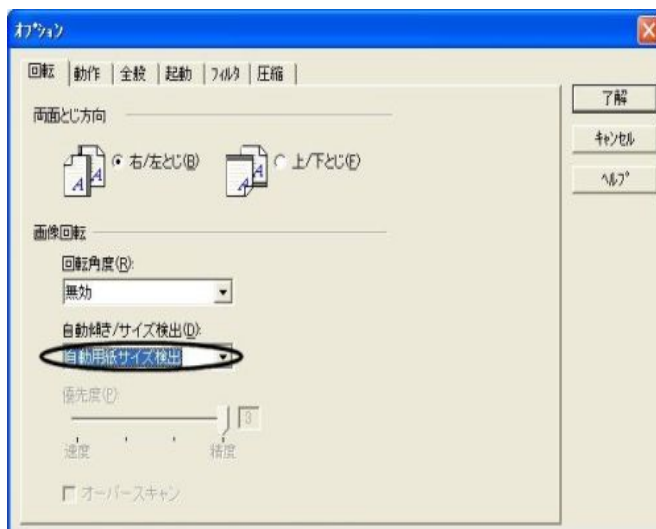
第10章 スキャナの仕様

付録



3.8 原稿の傾きを自動で補正したいとき (前頁からの続き)

3. [自動傾き/サイズ検出]メニューから[自動用紙サイズ検出]を選択します。

4. [了解] ボタンをクリックします。
画面が[TWAIN ドライバ]ダイアログボックスに戻ります。続けて、読み取り操作をおこないます。

注記

下記のような原稿を読み取る場合は、正確に自動原稿サイズ検出ができないことがあります。

- ・厚さが52g/m²(13.9 l b)以下の原稿
- ・長方形でない原稿
- ・端を濃く塗りつぶした原稿

ヒント

フラットベッド読み取りの場合、黒色原稿押えパッドオプションを使用することにより自動用紙サイズ検出が可能となります。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

4.1 清掃用品および清掃が必要な箇所

4.2 ADFの清掃

4.3 フラットベッドの清掃

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



第4章 日常の手入れ

この章では、スキャナの清掃方法について説明します。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

4.1 清掃用品および清掃が必要な箇所

4.2 ADFの清掃

4.3 フラットベッドの清掃

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション




第10章 スキャナの仕様

付録



4.1 清掃用品および清掃が必要な箇所

1. 清掃用品

清掃用品	商品番号	備考
クリーニングペーパー 	0631180	クリーナF1と共に使用
クリーナF1 (またはイソプロピルアルコール) 	0631150	1ボトル 布にしみこませて清掃します。
クリーナF2 	0631160	1ボトル 70 ml/ボトル プラスチックローラの清掃にのみ使用
綿棒	市販のもの	
乾いた布		



注意

クリーナF2でゴム製の部分は清掃しないでください

[清掃用品の購入先](#)

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
4.1 清掃用品および清掃が必要な箇所
4.2 ADFの清掃
4.3 フラットベッドの清掃
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録



4.1 清掃用品および清掃が必要な箇所 (前頁からの続き)

2. 清掃が必要な箇所

清掃箇所	名称	クリーナF1を吹き付けたクリーニン グペーパー	クリーナF1をしみ込ませた布	クリーナF2をつけた 綿棒
		10,000枚読み取りごと	10,000枚読み取りごと	汚れがひどい場合
フラットベッド	原稿押さえパッド			
	原稿台			
ADF	シュートローラ(通常はカバーが閉じています)			
	ピックアーム			
	ピックローラ			
	ピックベルト			
	セパレーションローラ			
	ブレイキローラ			
	フィードローラ			
	プラスチックローラ			
	シートガイド/ガラス			
	超音波センサ	この部分は、乾いた柔らかい布で清掃してください。		

以下のような場合は、頻繁に清掃する必要があります。

- コート紙のように表面が滑らかな原稿を読み取る場合
- ほぼ全面に印刷されている原稿を読み取る場合
- ノーカーボン紙のように化学物質で加工してある原稿を読み取る場合
- カルシウムを多く含む原稿を読み取る場合
- 鉛筆書きの原稿を多数読み取る場合



注意

クリーナF2でゴム製の部分は清掃しないでください。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

4.1 清掃用品および清掃が必要な箇所

4.2 ADFの清掃

4.3 フラットベッドの清掃

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



4.2 ADFの清掃

4.2.1 クリーナF1をしみ込ませた布によるADFの清掃

ブレーキローラ、ガラス部、プラスチックローラの清掃

1. ADFボタンを押しながらADFカバーを開きます。
2. クリーナF1をしみ込ませた布を用いて、ガラス部、シートガイド、プラスチックローラを清掃します。
3. ブレーキローラホルダーを開きブレーキローラを取り出します。ブレーキローラをクリーナF1をしみこませた布を用いて清掃します。
4. ADFを閉じます。

**注意**

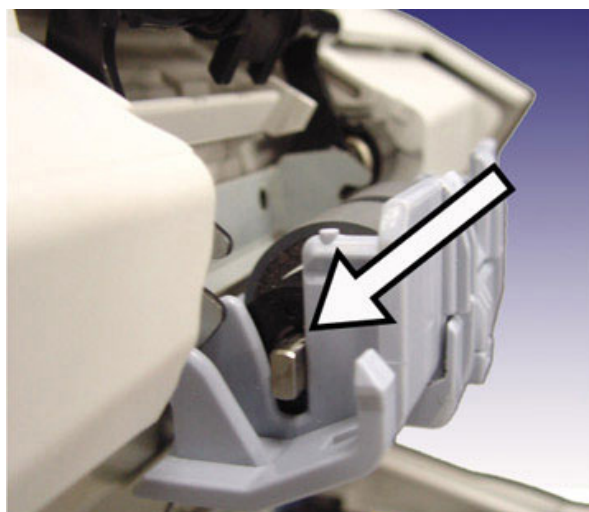
ADFカバーに指をはさまないよう注意してください。

ADF内部のガラスが高温になります。ご注意ください。

注記

ブレーキローラは、ホルダーの軸の平らな部分に、位置を合わせて取り付けてください。ブレーキローラが正しく取り付けられていることを確認してください。ブレーキローラが正しく取り付けられていないと、原稿づまりや読み込み不良が起こることがあります。

ガイドラインに従って、10,000枚スキャンするごとに、ADFを清掃してください。この数は、スキャンした原稿の種類によって変わります。たとえば、トナーが十分に乾いていない原稿をスキャンした場合は、さらに頻繁にスキャナを清掃する必要があります。



目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

4.1 清掃用品および清掃が必要な箇所

4.2 ADFの清掃

4.3 フラットベッドの清掃

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



4.2 ADFの清掃 (前頁からの続き)

4.2.1 クリーナF1を含ませた布によるADFの清掃
(前頁からの続き)

ビックローラの清掃

1. ADFボタンを押しながらADFカバーを開き、ADF給紙シュートを取り外します。
2. ビックローラカバーを開きます。ビックローラ（2個）を回転軸から取り外し、クリーナF1をしみ込ませた布でいいいに清掃します。
3. 清掃が終了したら、ビックローラ（2個）を回転軸に取り付けます。
4. ビックローラカバーを開け、ADF給紙シュートを取り付けます。
5. ADFボタンがロックされるまで、ADFの中央を押しながらADFカバーを閉じます。

フィードローラの清掃

1. ADFボタンを押しながらADFカバーを開きます。ファンクションナンバーディスプレイに「P」または「0」と表示されているときに、ADFを開けると、手順2以降の操作をスキャナで行っても、フィードローラが回転しません。そのため、「P」または「0」以外の表示のときに、ADFを開けてください。
2. 操作パネルで、「Send to」ボタンと「Scan」ボタンを同時に押します。フィードローラが、少し回転します。「Send to」ボタンと「Scan」ボタンの位置の詳細については、「1.2 操作パネルの機能」を参照してください。
3. 乾いた柔らかい布にクリーナF1を含ませ、その布をローラに押しあてて回転させると、ローラの表面が簡単にきれいになります。ローラに黒いくずが付くと、ビックアップの性能に悪影響が出るので、ローラの清掃には細心の注意を払ってください。目安として「Send to」ボタンおよび「Scan」ボタンを同時に7回押し、フィードローラが1回転します。
4. 清掃が終了したら、ADFボタンがロックされるまで、ADFの中央を押しながらADFカバーを閉じます。



注意

- ADFカバーに指を挟まないように注意してください。
- ADF内のガラス面は、スキャナの動作中に熱くなります。



目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

4.1 清掃用品および清掃が必要な箇所

4.2 ADFの清掃

4.3 フラットベッドの清掃

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



4.2 ADFの清掃 (前頁からの続き)

4.2.1 クリーナF1を含ませた布によるADFの清掃
(前頁からの続き)

シュートローラの清掃

シュートローラカバーを開け、クリーナF1を含ませた布で、ローラを清掃してください。



ピックアームの清掃

ADFボタンを押しながらADFを開け、クリーナF1を含ませた布でピックアームを清掃してください。



注意

-ADFカバーに指を挟まないように注意してください。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

4.1 清掃用品および清掃が必要な箇所

4.2 ADFの清掃

4.3 フラットベッドの清掃

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

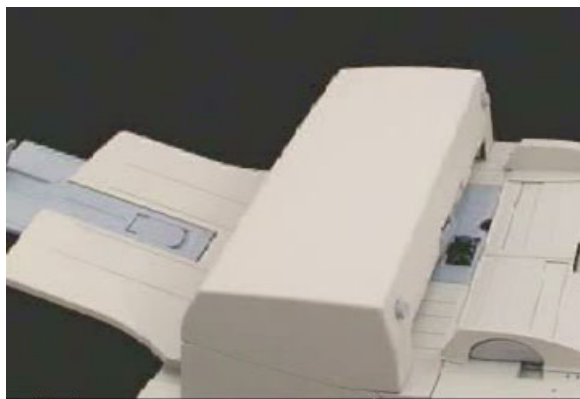
付録



4.2 ADFの清掃 (前頁からの続き)

4.2.2 クリーニングペーパーを使用したADFの清掃

1. ADFボタンを押しながらADFカバーを開きます。
2. クリーナF1をクリーニングペーパーに吹き付けます。
3. クリーニングペーパーの端がプラスチックローラに触れるように、ADFにセットします。
4. ADFを閉じると、クリーニングペーパーが排出されます。
5. 手順1から4を繰り返します。



ヒント

スキャナの電源を投入した状態で清掃します。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

4.1 清掃用品および清掃が必要な箇所

4.2 ADFの清掃

4.3 フラットベッドの清掃

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



4.3 フラットベッドの清掃

1. ハンドルを持ちながら、ドキュメントカバーを開けます。
2. クリーナF1を含ませた布で、原稿台（ガラス面）と原稿押さえパッドを軽く拭いて汚れを取ります。
3. 数分おいて、原稿台を乾かします。
4. ドキュメントカバーを閉めます。



ヒント

- 原稿台の清掃には、クリーナF1の代わりにガラス用洗剤を使用することもできます（ただし、プラスチック部分も清掃できる洗剤は除く）。
- 塗料用シンナーのような有機溶剤は使用できません。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 ブレーキローラの交換

5.3 ピックローラの交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



第5章 消耗品の交換

この章では、消耗品の交換方法について解説します。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 ブレーキローラの交換

5.3 ビックローラの交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



5.1 消耗品の番号と交換周期

以下に、消耗品の型名と交換周期の目安を示します。

品名	商品番号	交換周期（目安）
ブレーキローラ	0637810	250,000枚読み取りまたは1年ごと
ビックローラ	0637820	250,000枚読み取りまたは1年ごと

交換周期は、A4 原稿(64 g/m²)の上質紙、または中質紙を使用した場合の目安であり、使用原稿、使用頻度、およびクリーニングの頻度によって異なります。

注記

当社指定の消耗品以外は使用しないでください。他社の消耗品を使用しないでください。

[消耗品の購入先](#)

« 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 »

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 ブレーキローラの交換

5.3 ピックローラの交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



5.1 消耗品の番号と交換周期 (前頁からの続き)

消耗品交換の目安

本装置では、消耗品交換の目安、および使用回数を知ることができます。

1. スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。
スキャナとパソコンの接続については、「fi-5750C スタートアップガイド」の「2.2スキャナとパソコンの接続」を参照してください。

« 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 »

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 ブレーキローラの交換

5.3 ピックローラの交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

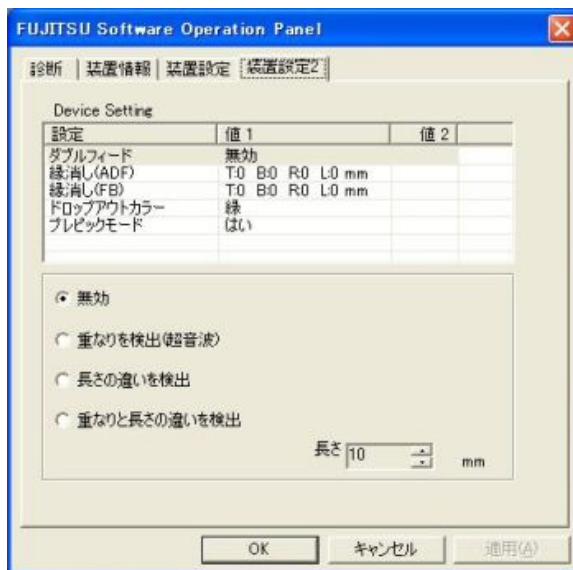
第10章 スキャナの仕様

付録



5.1 消耗品の番号と交換周期 (前頁からの続き)

- [スタート]メニューから[すべてのプログラム]をクリックして、[スキャナユーティリティ for Microsoft Windows]を選択し、[ソフトウェア操作パネル]をクリックします。



>> 「FUJITSU ソフトウェア操作パネル」ウィンドウが表示されます。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 ブレーキローラの交換

5.3 ピックローラの交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



5.1 消耗品の番号と交換周期 (前頁からの続き)

3. [装置設定]タブをクリックします。

>> 以下の画面が表示されます。



この画面で、以下のことが確認できます。

総読み取り枚数

ブレーキローラカウンタ (ブレーキローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数)

ピックローラカウンタ (ピックローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数)

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 ブレーキローラの交換

5.3 ピックローラの交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

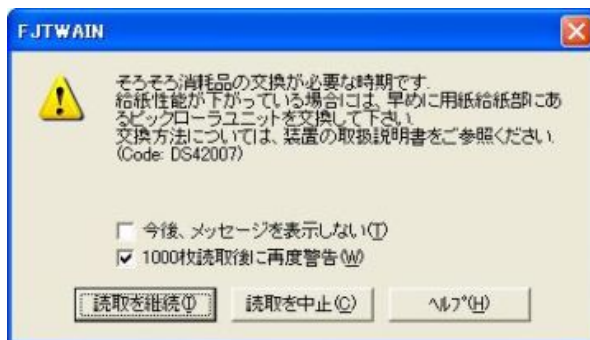
第10章 スキャナの仕様

付録



5.1 消耗品の番号と交換周期 (前頁からの続き)

なお、スキャナを使用していると、以下のようなメッセージが表示されることがあります。



このメッセージが表示されたら、消耗品を交換してください。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 ブレーキローラの交換

5.3 ピックローラの交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



5.1 消耗品の番号と交換周期 (前頁からの続き)

すぐに消耗品を交換する場合

1. 現在、読み取り中の原稿を全て読み取ってから消耗品を交換する場合は、[読み取りを継続]ボタンをクリックします。読み取り作業を中断して、すぐに消耗品を交換する場合は、[読み取りを中止]ボタンをクリックします。
2. 消耗品の交換をおこないます。消耗品の交換方法の詳細については、「5.2 ブレーキローラの交換」および「5.3 ピックローラの交換」を参照してください。
3. 今後、このメッセージを表示させないようにする場合は、[今後、メッセージを表示しない]をチェックします。[今後、メッセージを表示しない]をチェックすると、消耗品カウンタをリセットするまで、このメッセージは表示されなくなります。注意してください。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#)

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 ブレーキローラの交換

5.3 ビックローラの交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



5.1 消耗品の番号と交換周期 (前頁からの続き)

すぐに消耗品を交換しない場合

1. 現在の読み取り作業を継続させる場合は、[読み取りを継続]ボタンをクリックします。現在の読み取り作業を中断する場合は、[読み取りを中止]ボタンをクリックします。
2. できるだけ早く消耗品の交換をおこなってください。消耗品の交換方法の詳細については、「5.2 ブレーキローラの交換」および「5.3 ビックローラの交換」を参照してください。
3. 今後、このメッセージを表示させないようにする場合は、[今後、メッセージを表示しない]をチェックします。[今後、メッセージを表示しない]をチェックすると、消耗品カウンタをリセットするまで、このメッセージは表示されなくなります。注意してください。このメッセージが表示されてから1,000枚読み取り後に再度メッセージを表示させる場合は、[1000枚読取後に再度警告]をチェックします。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 ブレーキローラの交換

5.3 ピックローラの交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

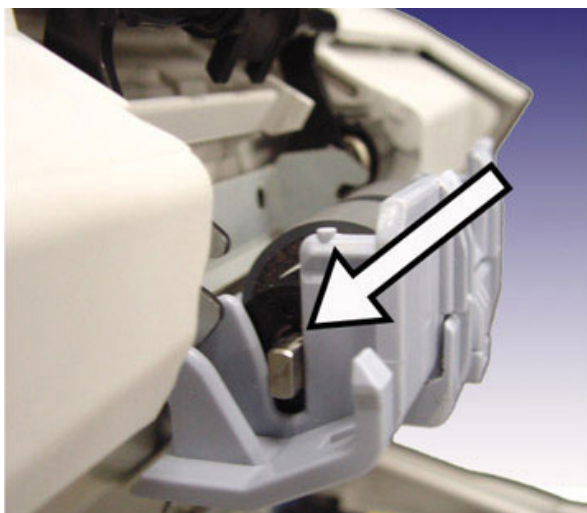
付録



5.2 ブレーキローラの交換



1. ADF給紙シュートから、原稿をすべて取り除きます。
2. ADFボタンを押しながら、ADFカバーを開けます。
3. ブレーキローラホルダーを開き、ブレーキローラを取り外します。
4. ブレーキローラを軸からはずします。
5. 新しいブレーキローラを、軸にとりつけ、軸の溝に回転軸の突起部を合わせます。ホルダーのガイド溝に回転軸の平らな部分を合わせて、ブレーキローラを取り付けます。



6. ブレーキローラホルダーを閉じます。
7. ADFボタンがロックされるまで、ADFカバーの中央を押しながらADFカバーを閉めます。
8. ブレーキローラのカウンタをリセットします。リセット方法の詳細については、「[7.6 消耗品カウンタのリセット](#)」を参照してください。



ADFカバーに指をはさまないよう注意してください。
-ブレーキローラカバーを開けたまま、ADFカバーを閉めないでください。

ヒント

ブレーキローラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。ブレーキローラがしっかりと取り付けられていないと、ダブルフィードなどの給紙エラーが起こります。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 ブレーキローラの交換

5.3 ビックローラの交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



5.3 ビックローラの交換

1. ADFボタンを押しながらADFカバーを開きます。



2. ADF給紙シュートを取り外します。
3. ビックローラカバーを開きます。ビックローラ（2個）を回転軸から取り外します。
4. 回転軸に新しいビックローラ（2個）を取り付けます。
5. ビックローラカバーを閉じます。
6. ADF給紙シュートを取り付けます。
7. ADFボタンがロックされるまで、ADFの中央を押しながらADFカバーを閉じます。
8. ビックローラカウンタをリセットします。リセット方法の詳細については、「[7.6 消耗品カウンタのリセット](#)」を参照してください。



注意

ADFカバーに指をはさまないよう注意してください。
-ビックローラカバーを開けたまま、ADFカバーを閉めないでください。

ヒント

ビックローラのローラが、しっかりと取り付けられていることを確認してください。ローラがしっかりと取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーが起こります。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

6.1 原稿づまりが発生したときには

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 サービスセンターに連絡する前に

6.4 装置ラベルの確認

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



第6章 問題が起きたとき

この章では、原稿づまりやその他の問題への対処法、スキャナをお求めになった販売店へご連絡いただく前のチェック項目、装置ラベルの確認方法について解説します。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

6.1 原稿づまりが発生したときには

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 サービスセンターに連絡する前に

6.4 装置ラベルの確認

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



6.1 原稿づまりが発生したときには

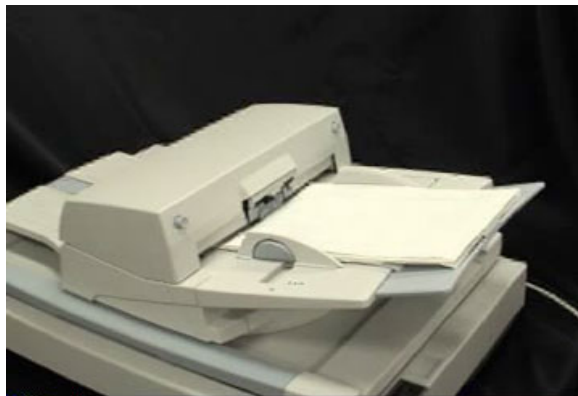


注意

-ADF内のガラス面は、スキャナの動作中に熱くなります。ご注意ください。

-ADFに指をはさまないように注意してください。

ダブルフィードなどの原因で、原稿づまりが起きた場合は、以下の手順に従って、つまった原稿を取り除いてください。



1. ADF給紙シュートから、原稿をすべて取り除きます。
2. ADFボタンを押しながらADFカバーを開きます。
3. つまんだ原稿を取り除きます。
4. ADFボタンがロックされるまで、ADFの中央を押しながら閉めます。ADFが完全に閉まっていることを確認します。ADFが完全に閉まっていないと、原稿づまりや給紙エラーが起こります。

注記

-金属物(ペーパークリップなど)がADF内にあると、原稿づまりが起こります。ADF内をチェックして、金属物がないことを確認してください。

-読み取る前に、原稿から金属物(ペーパークリップなど)を取り除いてください。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

6.1 原稿づまりが発生したときには

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 サービスセンターに連絡する前に

6.4 装置ラベルの確認

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



6.2 操作パネルのエラー表示

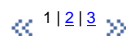
スキャナにトラブルが発生すると、一時的なエラーの場合「U」が、装置異常の場合「E」が、操作パネルに表示されます。一時的なエラーは、お客様による復旧が可能です。装置異常は、専門のサポートエンジニアによる復旧作業が必要となります。お使いのパソコンにError Recovery Guideがインストールされている場合、Windowsの起動と同時にError Recovery Guideのウィンドウが表示されます。エラーや装置異常が発生すると、エラーの名称やコード番号などの関連情報が、Error Recovery Guideの画面に表示されます。画面に表示される情報を書き留めて、[詳細]ボタンを押し、対処方法を確認してください。

エラー:

表示	項目
U0	輸送ロックが解除されているか確認してください。
U1	原稿づまりが発生しました。
U2	ダブルフィードが発生しました。
U3	予備
U4	ADFカバーが開いています。

ヒント

Error Recovery Guide は、Setup CD-ROMに収録されています。アプリケーション ソフトウェアをインストールするには、fi-5750C スタートアップガイドの「2.3.3 その他のアプリケーションプログラムのインストール」を参照してください。



目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

6.1 原稿づまりが発生したときには

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 サービスセンターに連絡する前に

6.4 装置ラベルの確認

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



6.2 操作パネルのエラー表示 (前頁からの続き) 2.

装置の異常:

表示	項目
E0	フラットベッド部の走行系に異常が発生しました。
E1	光学系 (フラットベッド) に異常が発生しました。
E2	光学系 (表) に異常が発生しました。
E3	光学系 (裏) に異常が発生しました。
E4	モータヒューズ異常が発生しました。
E5	ランプヒューズ異常が発生しました。
E6	スキャナの電源投入時に、操作パネルに異常が発生しました。
E7	EEPROMに異常が発生しました。
E8	SCSIインタフェースヒューズ異常が発生しました。
E9	画像メモリにエラーが発生しました。

異常が起こった場合は、いったんスキャナの電源を切ってから、電源を入れ直してください。ファンクションナンバーディスプレイに、異常が表示されたままの場合は、スキャナをお求めになった販売店、または[PFU イメージングサービス&サポートセンター](#)までお問い合わせください。

« 1 | 2 | 3 »

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

6.1 原稿づまりが発生したときには

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 サービスセンターに連絡する前に

6.4 装置ラベルの確認

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



6.2 操作パネルのエラー表示 (前頁からの続き)

表示	項目
Ec	メモリ異常が発生しました。
ED	SPCに異常が発生しました。
EF	裏あて切り替え機構に異常が発生しました。
E10	ROMに異常が発生しました。
E11	ファンに異常が発生しました。
E12	ヒータに異常が発生しました。
E13	(予備)
E14	(予備)
E15	増設メモリに異常が発生しました。*注記の項目を確認してください。
E16	オプションボードに異常が発生しました。
E18	センサに異常が発生しました。
E19	LSIに異常が発生しました。
E1A	スキャナ内部通信異常が発生しました。

注記

お客さまが取り付けました増設メモリに異常が発生しました。お問い合わせの前に、「9.1 増設メモリ」を参照して次の項目を確認してください。なお、このエラーは電源投入直後に3回だけ表示され、それ以降は増設メモリのない状態で読取動作します。

1. 増設メモリの仕様が合っていますか？
2. 増設メモリが正しく取り付けられていますか？
3. 増設メモリは2か所取り付けられていますか？
4. 増設メモリが壊れていませんか？

異常が起こった場合は、いったんスキャナの電源を切ってから、電源を入れ直してください。ファンクションナンバーディスプレイに、異常が表示されたままの場合は、スキャナをお求めになった販売店、または[PFU イメージングサービス&サポートセンター](#)までお問い合わせください。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

6.1 原稿づまりが発生したときには

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 サービスセンターに連絡する前に

6.4 装置ラベルの確認

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



6.3 サービスセンターに連絡する前に

修理サービスに問い合わせる前に、下記のリンクをクリックして、トラブルシューティングとチェックリストをご確認ください。

✦ [トラブルシューティング](#)

ファンクションナンバーディスプレイに、異常が表示されたままの場合は、スキャナをお求めになった販売店、または[PFU イメージングサービス&サポートセンター](#)までお問い合わせください。なお、サービスセンターにご連絡いただく際には、次の情報の準備をお願いいたします。

チェック項目：

型：(例) fi-5750C

型については、「6.4 装置ラベルの確認」を参照してください。

製造番号(シリアルナンバー)(例) 000001

シリアルナンバーについては、「6.4 装置ラベルの確認」を参照してください。

製造年月日：(例) 2004-01 (2004年1月)

製造年月日については、「6.4 装置ラベルの確認」を参照してください。

下のリンクをクリックすると、チェックリストの印刷用画面が表示されます。チェックリストを印刷し、必要な情報をご記入の上、サービスセンターまでお問い合わせください。

✦ [チェックリスト](#)

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

6.1 原稿づまりが発生したときには

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 サービスセンターに連絡する前に

6.4 装置ラベルの確認

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



6.3 サービスセンターに連絡する前に (前頁からの続き)

修理・お問い合わせについて

当社では、お客様に安心して富士通イメージスキャナfiシリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。購入時にご加入頂く契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を協力的にバックアップいたします。

契約サービス

契約サービスには、以下の2種類のサービスメニューがあります。

定額訪問修理サービス

機器の故障発生には、直ちにサービスマンが伺い、迅速で確実な修理作業を行います。メーカー直接保守による高度な技術と迅速な保守対応を行います。全国サービスネットによる迅速な保守対応を行います。

定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用して頂くために、年一回サービスマンが点検作業に伺います。機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応を行います。機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。消耗品はお客様の費用負担となります。

スポットサービス

スポットサービスには以下の2種類のサービスがあります。

センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を持ち込んで頂き修理を行います。

センドバック修理サービス	持込基本料 + 部品費 *送料：発送元負担
引き取り修理サービス (付加)	指定日に修理機を引き取ります。
代替機サービス (付加) *1 *2	修理中に代替機を貸出します。 (引取りと併用)

*1 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種になることがあります。

*2 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承下さい。

キャンセル料 | 持ち込み診断後、交換部品が高価なため修理をキャンセルする場合などにかかります。

オンサイト修理サービス

機器の故障発生時にご連絡頂き、その後、サービスマンが直接修理に伺います。

オンサイト修理サービス | 訪問基本料金 (作業時間=1時間まで) + 部品費 + オプション料金 + 加算料金 (技術料金。その他加算料金)

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ	
受付窓口	PFU イメージングサービス & サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120 - 37 - 9089
	042 - 788 - 7746 (携帯電話からおかけの場合)
受付時間	月～金曜日 9:00～12:00、13:30～17:00 (土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く)
	ウェブサイト

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または[PFU イメージングサービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。

消耗品の購入先

ビックローラなどの消耗品のご購入については、本装置を購入された販売代理店、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

富士通コワーコ株式会社

TEL: 0120-505-279

http://jp.fujitsu.com/group/coworco/

電話お問い合わせ受け付け時間

月～金 / 9 : 00 ~ 17 : 30

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

本製品の修理はお客様自身ではおこなわないでください。

本製品の保証条件については製品に同梱の当社の保証書の規定をご確認ください。保証書には所定事項をご記入の上大切に保管願います。

本製品の修理部品の最低供給期間は製品の製造打ち切り後5年間です。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

6.1 原稿づまりが発生したときには

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 サービスセンターに連絡する前に

6.4 装置ラベルの確認

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



トラブルシューティング

- ✧ [スキャナの電源が入らない。](#)
- ✧ [スキャナの電源が入ると、ファンクションナンバーディスプレイにアラームが表示される。](#)
- ✧ [ファンクションナンバーディスプレイに何も表示されない。](#)
- ✧ [読み取りが開始されない。](#)
- ✧ [白黒読み取りで、絵や写真の読み取り品質が悪い。](#)
- ✧ [文字や線の読み取り結果が悪い。](#)
- ✧ [画像がゆがむ、またはぼやける。](#)
- ✧ [読み取られた画像に縦線が出ている。](#)
- ✧ [ダブルフィードエラーが頻繁に起こる。](#)
- ✧ [原稿がADFに送り込まれない状態が頻繁に起こる。](#)
- ✧ [原稿づまりが頻繁に起こる。](#)
- ✧ [ADFで原稿を読み取ったとき、読み取られた画像が間延びする。](#)
- ✧ [読み取られた画像の先端に影が出ている。](#)

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

6.1 原稿づまりが発生したときには

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 サービスセンターに連絡する前に

6.4 装置ラベルの確認

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション





第10章 スキャナの仕様

付録



症状 : スキャナの電源が入らない。

☛ [トラブルシューティング一覧に戻る](#)

電源ケーブルは正しく接続されていますか？	 いいえ	電源ケーブルを正しく接続してください。
 はい		
電源スイッチを押しましたか？	 いいえ	電源スイッチ を押してください。
 はい		
以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「 6.3 チェックリスト 」の項目をチェックして、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンター までお問い合わせください。		

目次

- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 基本的な操作方法
- 第3章 用途に応じた読み取り方法
- 第4章 日常の手入れ
- 第5章 消耗品の交換
- 第6章 問題が起きたとき
 - 6.1 原稿づまりが発生したときには
 - 6.2 操作パネルのエラー表示
 - 6.3 サービスセンターに連絡する前に
 - 6.4 装置ラベルの確認
- 第7章 スキャナの設定
- 第8章 ADFにセットする原稿について
- 第9章 オプション
- 第10章 スキャナの仕様
- 付録



症状： スキャナに電源が入った後で、ファンクションナンバーディスプレイに異常（「E」またはその他の数字や文字）が表示されている。

❖ [トラブルシューティング一覧に戻る](#)

(スキャナを現在の位置に設置したばかりの場合) 輸送ロックを解除しましたか？	 いいえ	スキャナの電源を落とし、輸送ロックを解除した後、スキャナの電源を入れ直してください。 ：「スタートアップガイド」 2.1 スキャナの設置
はい		
スキャナの電源を入れなおした後も、ファンクションナンバーディスプレイに異常が表示されますか？	 いいえ	スキャナは正常に動作しています。
はい		
以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「 6.3 チェックリスト 」の項目をチェックして、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンター までお問い合わせください。		

目次

- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 基本的な操作方法
- 第3章 用途に応じた読み取り方法
- 第4章 日常の手入れ
- 第5章 消耗品の交換
- 第6章 問題が起きたとき
 - 6.1 原稿づまりが発生したときには
 - 6.2 操作パネルのエラー表示
 - 6.3 サービスセンターに連絡する前に
 - 6.4 装置ラベルの確認
- 第7章 スキャナの設定
- 第8章 ADFにセットする原稿について
- 第9章 オプション
- 第10章 スキャナの仕様
- 付録



症状 : ファンクションナンバードisplayに何も表示されない。

☛ [トラブルシューティング一覧に戻る](#)

操作パネルのいずれかのボタンを押した後も、ディスプレイに何も表示されないままですか？	 いいえ	スキャナは正常に動作しています。
 はい		
スキャナを再起動した後も、ディスプレイに何も表示されないままですか？	 いいえ	スキャナは正常に動作しています。
 はい		
以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「 6.3 チェックリスト 」の項目をチェックして、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンター までお問い合わせください。		

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

6.1 原稿づまりが発生したときには

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 サービスセンターに連絡する前に

6.4 装置ラベルの確認

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



症状：読み取りが開始されない。

* [トラブルシューティング一覧に戻る](#)

<p>輸送ロックを解除しましたか？</p> <p>いいえ</p>		<p>スキャナの電源を落とし、輸送ロックを解除してください。 参照：「スタートアップガイド」 2.1 スキャナの設置</p>
<p>はい</p>		
<p>原稿は、ADF給紙シュートに正しくセットされていますか？</p> <p>いいえ</p>		<p>ADF給紙シュートに原稿をセットしてください。</p>
<p>はい</p>		
<p>ADFは完全に閉まっていますか？</p> <p>いいえ</p>		<p>ADFを完全に閉めてください。</p>
<p>はい</p>		
<p>インタフェースのケーブルは正しく接続されていますか？</p> <p>いいえ</p>		<p>インタフェースのケーブルを正しく接続してください。 参照：「スタートアップガイド」 2.2 スキャナとパソコンの接続</p>
<p>はい</p>		
<p>インタフェースケーブルのコネクタが壊れていますか？</p> <p>はい</p>		<p>新しいインタフェースケーブルを使用して、正しく接続してください。</p>
<p>いいえ</p>		
<p>(SCSIインタフェース接続の場合) SCSI ID は正しく設定されていますか？</p> <p>いいえ</p>		<p>スキャナの電源を切り、SCSI IDを正しく設定してから、スキャナの電源を入れ直してください。 参照：「スタートアップガイド」 2.2 スキャナとパソコンの接続</p>
<p>はい</p>		
<p>スキャナを再起動した後も、読み取りが開始されませんか？</p> <p>いいえ</p>		<p>スキャナは正常に動作しています。</p>
<p>はい</p>		
<p>以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「6.3 チェックリスト」の項目をチェックして、ご購入の販売店またはPFU イメージングサービス&サポートセンターまでお問い合わせください。</p>		

目次

- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 基本的な操作方法
- 第3章 用途に応じた読み取り方法
- 第4章 日常の手入れ
- 第5章 消耗品の交換
- 第6章 問題が起きたとき
 - 6.1 原稿づまりが発生したときには
 - 6.2 操作パネルのエラー表示
 - 6.3 サービスセンターに連絡する前に
 - 6.4 装置ラベルの確認
- 第7章 スキャナの設定
- 第8章 ADFにセットする原稿について
- 第9章 オプション
- 第10章 スキャナの仕様
- 付録



症状 : 白黒読み取りで、絵や写真の読み取り品質が悪い。

☛ [トラブルシューティング一覧に戻る](#)

ハーフトーンまたはディザリングを選択していますか？	 いいえ	パソコンで、ハーフトーン処理またはディザリング処理を選択してください。
 はい		
ADF内部のガラス面、フラットベッドの原稿台・原稿押さえパッドはきれいですか？	 いいえ	汚れている部分を清掃してください。
 はい		
以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「 6.3 チェックリスト 」の項目をチェックして、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンター までお問い合わせください。		

目次

- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 基本的な操作方法
- 第3章 用途に応じた読み取り方法
- 第4章 日常の手入れ
- 第5章 消耗品の交換
- 第6章 問題が起きたとき
 - 6.1 原稿づまりが発生したときには
 - 6.2 操作パネルのエラー表示
 - 6.3 サービスセンターに連絡する前に
 - 6.4 装置ラベルの確認
- 第7章 スキャナの設定
- 第8章 ADFにセットする原稿について
- 第9章 オプション
- 第10章 スキャナの仕様
- 付録



症状 : 文字や線の読み取り結果が悪い。

❖ [トラブルシューティング一覧に戻る](#)

ADF内部のガラス面、フラットベッドの原稿台・原稿押さえパッドはきれいですか？		汚れている部分を清掃してください。
はい		
以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「 6.3 チェックリスト 」の項目をチェックして、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンター までお問い合わせください。		

目次

- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 基本的な操作方法
- 第3章 用途に応じた読み取り方法
- 第4章 日常の手入れ
- 第5章 消耗品の交換
- 第6章 問題が起きたとき
 - 6.1 原稿づまりが発生したときには
 - 6.2 操作パネルのエラー表示
 - 6.3 サービスセンターに連絡する前に
 - 6.4 装置ラベルの確認
- 第7章 スキャナの設定
- 第8章 ADFにセットする原稿について
- 第9章 オプション
- 第10章 スキャナの仕様
- 付録



症状：画像がゆがむ、またはぼやける。

☛ [トラブルシューティング一覧に戻る](#)

ADF内部のガラス面、フラットベッドの原稿台・原稿押さえパッドはきれいですか？	➡ いいえ	汚れている部分を清掃してください。
↓ はい		
読み取り中に、ADFカバーを押さえつけていますか？または上に重いものを置いていますか？	➡ はい	読み取り中は、ADFを押さえたり、上に重いものを置いたりしないでください。
↓ いいえ		
読み取り中に、スキャナに振動を与えていませんか？	➡ はい	読み取り中に、スキャナに振動を与えないようにしてください。
↓ いいえ		
スキャナを水平で平らな場所に設置していますか？	➡ いいえ	スキャナを水平で平らな場所に設置してください。
↓ はい		
以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「 6.3 チェックリスト 」の項目をチェックして、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンター までお問い合わせください。		

目次

- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 基本的な操作方法
- 第3章 用途に応じた読み取り方法
- 第4章 日常の手入れ
- 第5章 消耗品の交換
- 第6章 問題が起きたとき
 - 6.1 原稿づまりが発生したときには
 - 6.2 操作パネルのエラー表示
 - 6.3 サービスセンターに連絡する前に
 - 6.4 装置ラベルの確認
- 第7章 スキャナの設定
- 第8章 ADFにセットする原稿について
- 第9章 オプション
- 第10章 スキャナの仕様
- 付録



症状 : 読み取った画像に縦線が出ている。

❖ [トラブルシューティング一覧に戻る](#)

フラットベッドで原稿を読み取りましたか？	はい	ガラス面を清掃してください。
いいえ		
画像の同じ場所に線が表示されていますか？	はい	ADF内部のガラス面を清掃してください。
いいえ		
解像度を低く設定すると、縦線は消えますか？	はい	解像度を低く設定して、原稿を読み取ってください。
いいえ		
以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「 6.3 チェックリスト 」の項目をチェックして、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンター までお問い合わせください。		

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

6.1 原稿づまりが発生したときには

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 サービスセンターに連絡する前に

6.4 装置ラベルの確認

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



症状：ダブルフィードが頻繁に起こる。

* [トラブルシューティング一覧に戻る](#)

原稿は、「 8.2 原稿の紙質 」に記載されている条件を満たしていますか？	 いいえ	必要条件を満たした原稿を使用してください。
 はい		
ダブルフィード検出機能がオンになっている場合、ダブルフィード検出の条件を満たしていますか？	 いいえ	ダブルフィード検出の条件を満たすようにしてください。
 はい		
ADF給紙シュートにセットする前に、原稿をさばきましたか？	 いいえ	原稿をセットする前に さばく か、原稿の枚数を減らしてください。
 はい		
原稿は、コピー機またはレーザープリンタで印刷したばかりですか？	 はい	原稿を3~4回 さばいて 、紙の静電気を取り除いてください。
 いいえ		
原稿の厚みは、A4で20mm、A3で10mmを超えていますか？	 はい	重ねる原稿の枚数を減らして、「 8.3 セットできる原稿の枚数 」を参照してください。
 いいえ		
消耗品（ピックアップおよびブレーキローラ）は正しく取り付けられていますか？	 いいえ	必要に応じ、消耗品（ ピックアップ 、 ブレーキローラ ）を正しく取り付けてください。
 はい		
消耗品（ピックアップおよびブレーキローラ）が汚れていますか？	 はい	消耗品を清掃 してください。
 いいえ		
消耗品（ピックアップおよびブレーキローラ）が磨耗していますか？	 はい	消耗品カウンタを確認してください。必要に応じ、消耗品を交換してください。消耗品カウンタの詳細については、「 消耗品の交換 」を参照してください。
 いいえ		
以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「 6.3 チェックリスト 」の項目をチェックして、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンター までお問い合わせください。		

目次

- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 基本的な操作方法
- 第3章 用途に応じた読み取り方法
- 第4章 日常の手入れ
- 第5章 消耗品の交換
- 第6章 問題が起きたとき
 - 6.1 原稿づまりが発生したときには
 - 6.2 操作パネルのエラー表示
 - 6.3 サービスセンターに連絡する前に
 - 6.4 装置ラベルの確認
- 第7章 スキャナの設定
- 第8章 ADFにセットする原稿について
- 第9章 オプション
- 第10章 スキャナの仕様



症状: 原稿がADFに送り込まれない状態が頻繁に起こる。

✦ [トラブルシューティング一覧に戻る](#)

原稿は、「 8.2 原稿の紙質 」に記述されている条件を満たしていますか？	 いいえ	必要条件を満たした原稿を使用してください。
 はい		
ADF給紙シュートにセットする前に、原稿をさばきましたか？	 いいえ	原稿をセットする前に さばく か、原稿の枚数を減らしてください。
 はい		
消耗品（ピックアップおよびブレーキローラ）は正しく取り付けられていますか？	 いいえ	消耗品（ ピックアップ 、 ブレーキローラ ）を正しく取り付けてください。
 はい		
消耗品（ピックアップおよびブレーキローラ）が汚れていますか？	 はい	消耗品を清掃 してください。
 いいえ		
消耗品（ピックアップおよびブレーキローラ）が磨耗していますか？	 はい	消耗品カウンタを確認してください。必要に応じ、消耗品を交換してください。消耗品カウンタの詳細については、「 消耗品の交換 」を参照してください。
 いいえ		
以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「 6.3 チェックリスト 」の項目をチェックして、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンター までお問い合わせください。		

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

6.1 原稿づまりが発生したときには

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 サービスセンターに連絡する前に

6.4 装置ラベルの確認

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



症状：原稿づまりが頻繁に起こる。

◀ [トラブルシューティング一覧に戻る](#)

原稿は、「 8.2 原稿の紙質 」に記載されている条件を満たしていますか？	いいえ	必要条件を満たした原稿を使用してください。
はい		
ADFの内部に異物が入り込んでいませんか？	はい	ADF内部を清掃 し、異物を取り除いてください。
いいえ		
消耗品（ピックアップおよびブレイキローラ）は正しく取り付けられていますか？	いいえ	消耗品（ ピックアップ 、 ブレイキローラ ）を正しく取り付けてください。
はい		
消耗品（ピックアップおよびブレイキローラ）が汚れていますか？	はい	消耗品を清掃 してください。
いいえ		
消耗品（ピックアップおよびブレイキローラ）が磨耗していますか？	はい	消耗品カウンタを確認してください。必要に応じ、消耗品を交換してください。消耗品カウンタの詳細については、「 消耗品の交換 」を参照してください。
いいえ		
以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「 6.3 チェックリスト 」の項目をチェックして、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンター までお問い合わせください。		

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
6.1 原稿づまりが発生したときには
6.2 操作パネルのエラー表示
6.3 サービスセンターに連絡する前に
6.4 装置ラベルの確認
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録

症状 : ADFで原稿を読み取ったとき、読み取られた画像が間延びする。

☛ [トラブルシューティング一覧に戻る](#)

各ローラを清掃しましたか？	いいえ	各ローラを清掃してください。
↓ はい		
原稿は、「 8.2 原稿の紙質 」に記載されている条件を満たしていますか？	いいえ	必要条件を満たした原稿を使用してください。
↓ はい		
次の手順で、 読み取り倍率 を調整してください。 [スタート]メニューから[すべてのプログラム]をクリックして、[Scanner Utility for Microsoft Windows]を選択し、[Software Operaiton Panel]をクリックします。[FUJITSU Software Operaiton Panel]の画面で[装置設定]タブを選択し、[オフセット]ボタンをクリックして、 読み取り倍率を調整 してください。	はい	スキャナは正常に動作しています。
正常に読み取れるようになりましたか？	いいえ	
↓		
以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「 6.3 チェックリスト 」の項目をチェックして、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンター までお問い合わせください。		

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
6.1 原稿づまりが発生したときには
6.2 操作パネルのエラー表示
6.3 サービスセンターに連絡する前に
6.4 装置ラベルの確認
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録

症状： 読み取られた画像の先端に、影が出ている。

✦ [トラブルシューティング一覧に戻る](#)

<p>オフセット (原稿の読み取り開始位置) が適切に設定されていますか？</p>	<p>いいえ</p> <p>[スタート]メニューから[すべてのプログラム]をクリックして、[Scanner Utility for Microsoft Windows] を選択し、[Software Operaiton Panel]をクリックします。[FUJITSU Software Operation Panel]の画面で[装置設定]タブを選択し、[オフセット] ボタンをクリックして、[副走査]を調整してください。</p>
<p>はい</p>	
<p>以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「6.3 チェックリスト」の項目をチェックして、ご購入の販売店またはPFU イメージングサービス&サポートセンターまでお問い合わせください。</p>	

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

6.1 原稿づまりが発生したときには

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 サービスセンターに連絡する前に

6.4 装置ラベルの確認

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

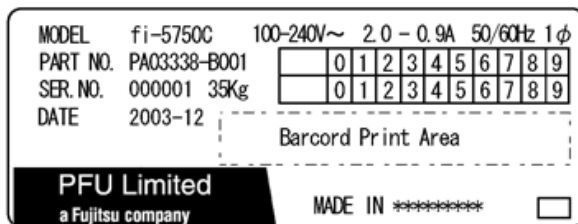
第10章 スキャナの仕様

付録



6.4 装置ラベルの確認

本装置のラベルは以下のとおりです。



装置ラベルの位置は以下のとおりです。



目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

7.1 スキャナの設定

7.2 ダブルフィードの検出

7.3 縁消しの設定

7.4 ドロップアウトカラーの設定

7.5 プレビックモードの設定

7.6 消耗品カウンタのリセット

7.7 オフセット調整

7.8 倍率調整

7.9 省電力設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



第7章 スキャナの設定

この章では、Software Operation Panelを使ったスキャナの設定方法について説明します。

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
7.1 スキャナの設定
7.2 ダブルフィードの検出
7.3 緑消しの設定
7.4 ドロップアウトカラーの設定
7.5 プレビックモードの設定
7.6 消耗品カウンタのリセット
7.7 オフセット調整
7.8 倍率調整
7.9 省電力設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録



7.1 スキャナの設定

Software Operation Panel はスキャナドライバ (TWAIN/ISIS)と同時にインストールされます。このアプリケーションを利用することで、fi-5750Cの様々な機能を設定することが可能です。Software Operation Panelを起動する場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]をクリックして、[Scanner Utility for Microsoft Windows] を選択し、[Software Operaiton Panel]をクリックします。設定項目は以下のとおりです。

No.	項目	説明	選択可能な設定	工場出荷時の設定
1	ダブルフィード	ダブルフィード検出を設定します。原稿の長さ、重なりまたは両方を監視し、ダブルフィードを検出します。	無効 / 重なりを検出 / 長さの違いを検出 / 重なりと長さの違いを検出 長さの違いは15 / 10 / 20mmが選択可能	無効
2	緑消し(ADF)	ADFで読み取られた画像に対する緑消し領域の調節をおこないます。	上/下/左/右: 0 ~ 15mmの範囲で設定 (1mm刻みで設定)	上/下/左/右: 0mm
3	緑消し(FB)	フラットベッドで読み取られた画像に対する緑消し領域の調節をおこないます。	上/下/左/右: 0 ~ 15mmの範囲で設定 (1mm刻みで設定)	上/下/左/右: 0mm

◀ 1 | 2 ▶

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

7.1 スキャナの設定

7.2 ダブルフィードの検出

7.3 緑消しの設定

7.4 ドロップアウトカラーの設定

7.5 ブレピックモードの設定

7.6 消耗品カウンタのリセット

7.7 オフセット調整

7.8 倍率調整

7.9 省電力設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

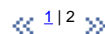
付録



7.1 スキャナの設定 (前頁からの続き)

設定内容は以下のとおりです。

No.	項目	説明	選択可能なパラメータ	工場出荷時の設定
4	ドロップアウトカラー	指定した色を除いて原稿を読み取ります。(白黒2値/グレースケールモード時のみ)	赤/緑/青/白	緑
5	ブレピック	処理速度を優先する場合は[はい]を選択します。そうでない場合は[いいえ]を選択します。	はい/いいえ	はい
6	消耗品カウンタ	消耗品の寿命を計るために使用します。また消耗品を交換したときは、この機能を使ってカウンタをリセットします。		
7	オフセット調整	原稿の水平または垂直方向の読み取り開始位置を設定します。	ADF(表)/ADF(裏)/フラットベッド左右: -2 ~ 3mmの範囲で設定 (0.5mm刻みで設定) 上下: -2 ~ 3mmの範囲で設定 (0.5mm刻みで設定)	左右: 0mm 上下: 0mm
8	倍率調整	原稿の読み取り倍率を調整します。	ADF/フラットベッド: -6.3% ~ 6.3%の範囲で設定 (0.1%刻みで設定)	0%
9	省電力設定	低電力モードに入るまでの待機時間を設定します。	5分 ~ 55分の範囲で設定 (5分刻みで設定)	



目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

7.1 スキャナの設定

7.2 ダブルフィードの検出

7.3 緑消しの設定

7.4 ドロップアウトカラーの設定

7.5 プレビックモードの設定

7.6 消耗品カウンタのリセット

7.7 オフセット調整

7.8 倍率調整

7.9 省電力設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



7.2 ダブルフィードの検出

ダブルフィードの検出の設定方法は、次のとおりです。

1. [装置設定 2]タブの[ダブルフィード]を選択します。



2. 検出方法を選択します。長さの違いを選択する場合は、10/15/20mmから長さを選択します。

無効：ダブルフィードをチェックしません。

重なりを検出：原稿の重なりをチェックします。

長さの違いを検出：原稿の長さの差異をチェックします。

重なりと長さの違いを検出：チェックする長さを10/15/20mmから選択します。選択された長さの範囲内の誤差はエラーとして検出されません。

ヒント

「Software Operation Panel」からダブルフィード設定を行う場合は、FUJITSU TWAIN32ドライバのダブルフィード設定を[装置設定]にしてください。FUJITSU TWAIN32スキャナドライバが優先されます。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

7.1 スキャナの設定

7.2 ダブルフィードの検出

7.3 縁消しの設定

7.4 ドロップアウトカラーの設定

7.5 ブレックモードの設定

7.6 消耗品カウンタのリセット

7.7 オフセット調整

7.8 倍率調整

7.9 省電力設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

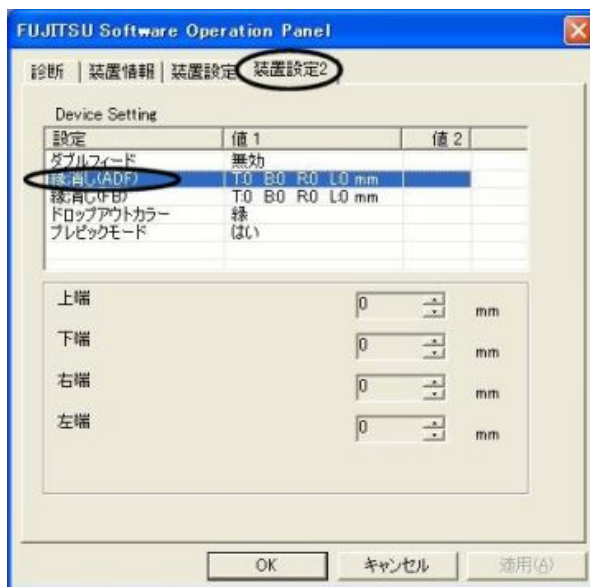
第10章 スキャナの仕様

付録



7.3 縁消しの設定

1. ADF読み取りの場合、[装置設定 2]タブの[縁消し (ADF)]を選択します。上下左右の縁消し範囲を数値で設定します。



ヒント

「Software Operation Panel」とFUJITSU TWAIN32 スキャナドライバで、同時に縁消し設定を行うと、「Software Operation Panel」で設定した縁消し画像に、FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバで設定した縁消しが上書きされます。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

7.1 スキャナの設定

7.2 ダブルフィードの検出

7.3 縁消しの設定

7.4 ドロップアウトカラーの設定

7.5 プレビックモードの設定

7.6 消耗品カウンタのリセット

7.7 オフセット調整

7.8 倍率調整

7.9 省電力設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

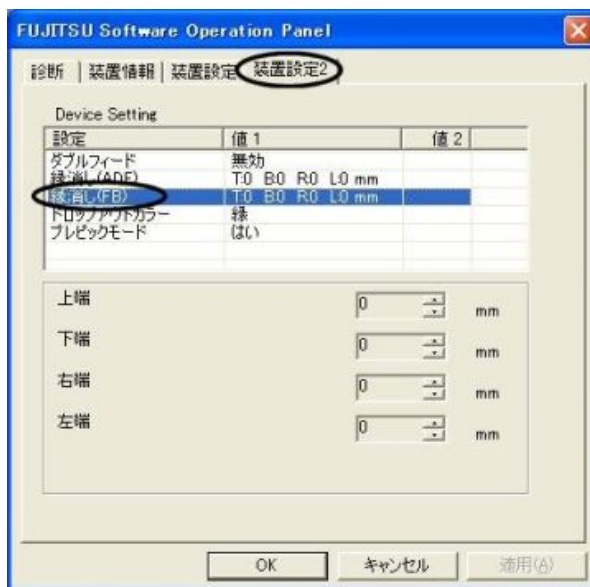
第10章 スキャナの仕様

付録



7.3 縁消しの設定 (前頁からの続き)

2. フラットベッド読み取りの場合、[装置設定 2]タブの[縁消し (FB)]を選択します。上下左右の縁消し範囲を数値で設定します。



12

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

7.1 スキャナの設定

7.2 ダブルフィードの検出

7.3 緑消しの設定

7.4 ドロップアウトカラーの設定

7.5 プレビックモードの設定

7.6 消耗品カウンタのリセット

7.7 オフセット調整

7.8 倍率調整

7.9 省電力設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

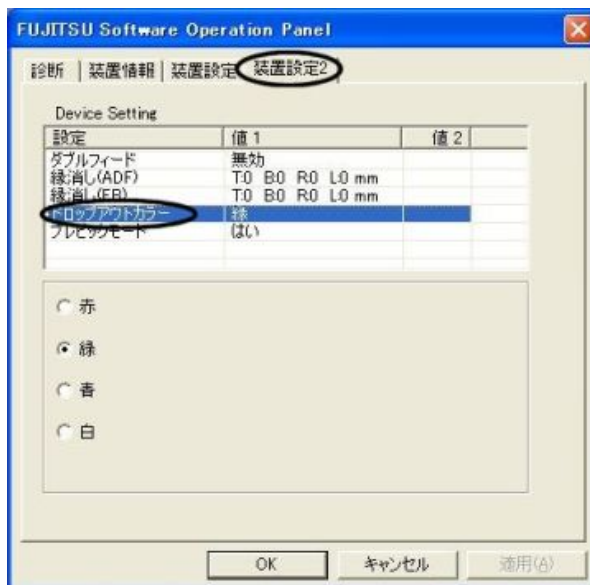
付録



7.4 ドロップアウトカラーの設定

ドロップアウトカラーは、次のように設定します。

1. [装置設定 2]タブで、[ドロップアウトカラー]を選択します。



2. ドロップアウトカラーを赤/緑/青/白の中から選択します。

赤：赤い色を除いて原稿を読み取ります。

緑：緑色を除いて原稿を読み取ります。

青：青色を除いて原稿を読み取ります。

白：ドロップアウトは起こりません。

ヒント

FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ設定が優先されます。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

7.1 スキャナの設定

7.2 ダブルフィードの検出

7.3 緑消しの設定

7.4 ドロップアウトカラーの設定

7.5 プレビックモードの設定

7.6 消耗品カウンタのリセット

7.7 オフセット調整

7.8 倍率調整

7.9 省電力設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

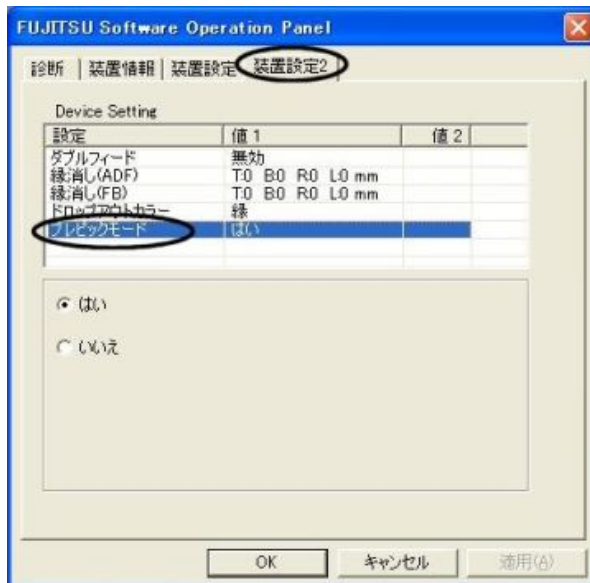
付録



7.5 プレビックモードの設定

プレビックモードは次のように設定します。

1. [装置設定 2]のタブで、[プレビック]を選択します。



はい：処理性能を重視した設定になります。次の原稿をビックローラの位置まで自動で送ります。
 いいえ：次の原稿はビックローラまで自動で送られません。

ヒント

FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ設定が優先されます。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

7.1 スキャナの設定

7.2 ダブルフィードの検出

7.3 緑消しの設定

7.4 ドロップアウトカラーの設定

7.5 プレピックモードの設定

7.6 消耗品カウンタのリセット

7.7 オフセット調整

7.8 倍率調整

7.9 省電力設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



7.6 消耗品カウンタのリセット

消耗品カウンタは次のようにリセットしてください。

1. [装置設定]タブをクリックします。



2. 交換した消耗品のカウンタを[クリア]ボタンで初期化します。([プレーキローラ]カウンタと[ピックローラ]カウンタ用).

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

7.1 スキャナの設定

7.2 ダブルフィードの検出

7.3 緑消しの設定

7.4 ドロップアウトカラーの設定

7.5 ブレックモードの設定

7.6 消耗品カウンタのリセット

7.7 オフセット調整

7.8 倍率調整

7.9 省電力設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



7.7 オフセット調整

オフセットは次のように設定します。

1. [装置設定]タブを選択して、「オフセット」ボタンをクリックします。>> 以下の画面が表示されます。



2. メニューからADF(表)/ADF(裏)/フラットベッドを選択します。主走査/副走査の数値を設定します。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

7.1 スキャナの設定

7.2 ダブルフィードの検出

7.3 緑消しの設定

7.4 ドロップアウトカラーの設定

7.5 プレビックモードの設定

7.6 消耗品カウンタのリセット

7.7 オフセット調整

7.8 倍率調整

7.9 省電力設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



7.8 倍率調整

倍率調整は次のようにおこないます。

1. [装置設定]タブを選択して、[オフセット]ボタンをクリックします。
>> 以下の画面が表示されます。



2. メニューからADFまたはフラットベッドを選択します。スライドコントロールを使って倍率を調節します。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み 読取経路

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

7.1 スキャナの設定

7.2 ダブルフィードの検出

7.3 緑消しの設定

7.4 ドロップアウトカラーの設定

7.5 ブレピックモードの設定

7.6 消耗品カウンタのリセット

7.7 オフセット調整

7.8 倍率調整

7.9 省電力設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



7.9 省電力設定

省電力設定は次のようにおこないます。

1. [装置設定]タブを選択します。
2. スライドコントロールを使い、低電力モードに入るまでの待機時間を設定します。



目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

8.1 原稿のサイズ

8.2 原稿の紙質

8.3 セットできる原稿の枚数

8.4 穴をあけてはいけない領域

8.5 ダブルフィードの検出条件

8.6 ジョブ区切りシート

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



第8章 ADF にセットする原稿について

この章ではADFが正しく動作するために必要な原稿のサイズと紙質について説明します。

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について

8.1 原稿のサイズ

8.2 原稿の紙質

8.3 セットできる原稿の枚数

8.4 穴をあけてはいけない領域

8.5 ダブルフィードの検出条件

8.6 ジョブ区切りシート

第9章 オプション

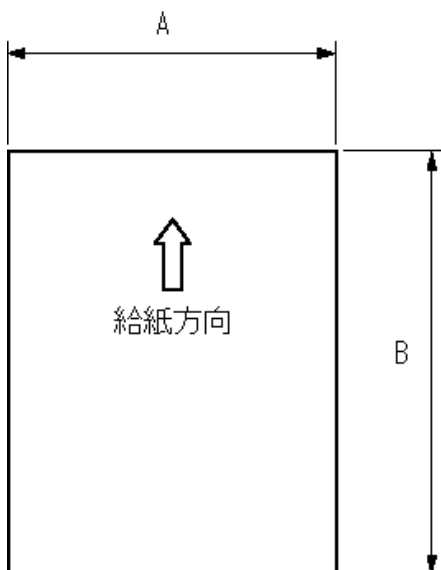
第10章 スキャナの仕様

付録



8.1 原稿のサイズ

読み取り可能な原稿のサイズを以下に示します。



最大		最小	
A	B	A	B
297 (11.7 インチ)	431 (17 インチ)	53 (2.0 インチ)	74 (2.9 インチ)

(単位: mm)

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について

8.1 原稿のサイズ
8.2 原稿の紙質
8.3 セットできる原稿の枚数
8.4 穴をあけてはいけない領域
8.5 ダブルフィードの検出条件
8.6 ジョブ区切りシート

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



8.2 原稿の紙質

原稿として推奨される用紙は、上質紙および中質紙です。それ以外の種類の原稿を使用する際には、読み取りをおこなうまえに、同質の用紙を用いて、読み取り可能かどうか確認してください。

原稿の紙厚は坪量と呼ばれる重さで表します。

使用可能な坪量は次のとおりです。

A4/Letter 以下のサイズ 41g/m² - 203 g/m²

A4/Letter より大きいサイズ: 52 g/m² -203g/m²
(最大A3サイズ)

ADF読み取りの場合、以下の原稿はうまく読み取れない場合があります。予期せぬエラーを防ぐために、あらかじめ予備原稿を用いてテストをおこなうか、フラットベッドで読み取ってください。

紙厚が一定していない原稿（封筒など）
しわがよっていたり、またはカールしている原稿
折れたり、裂けたりしている原稿
トレーシングペーパー
コート紙
カーボン紙
ノーカーボン紙
感光紙
端にミシン目や穴のある原稿
四角形でない原稿
非常に薄い原稿

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第5章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について

8.1 原稿のサイズ

8.2 原稿の紙質

8.3 セットできる原稿の枚数

8.4 穴をあけてはいけない領域

8.5 ダブルフィードの検出条件

8.6 ジョブ区切りシート

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



8.2 原稿の紙質 (続き)

以下の原稿は使用しないでください。

クリップまたはステープラーの針が付いた原稿
 インクが乾いていない原稿
 A8(縦置き)サイズよりも小さい原稿
 A3サイズや11 in. x 17 in.サイズの幅より大きい原稿
 紙以外のもの: 布、金属箔、OHPフィルム等

ヒント

透明の原稿を読み取るときは、濃度をライト側に設定してください。
 ローラが汚れないようにするために、鉛筆で塗りつぶした部分の多い原稿の読み取りは避けてください。やむをえず、このような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃してください。

注記

ノーカーボン紙は、ブレーキローラや原稿をピックアップローラを損傷するような化学物質を含んでいますので、以下のことに注意してください。

清掃:

原稿づまりが頻繁に起きるときは、ブレーキローラとピックアップローラを清掃してください。ブレーキローラとピックアップローラの詳細については、「4.2 ADFの清掃」を参照してください。

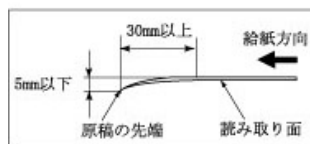
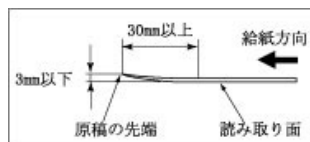
部品の交換:

ブレーキローラとピックアップローラの寿命は中質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなる場合があります。

中質紙の原稿を読み取った場合、ブレーキローラとピックアップローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取った場合に比べて短くなる場合があります。

ヒント

ADFで原稿を読み取る場合、すべての原稿は先端が平らでなければなりません。原稿先端のカーブは以下の数値を満たすようにしてください。

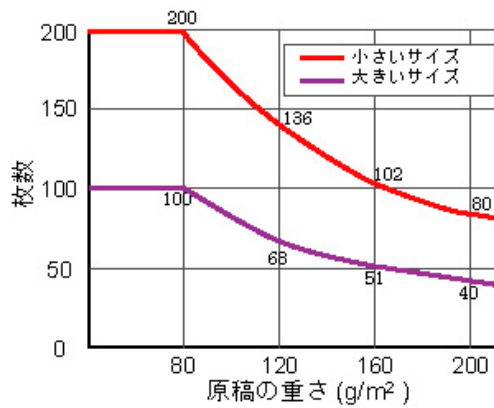


目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
8.1 原稿のサイズ
8.2 原稿の紙質
8.3 セットできる原稿の枚数
8.4 穴をあけてはいけない領域
8.5 ダブルフィードの検出条件
8.6 ジョブ区切りシート
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
付録

8.3 セットできる原稿の枚数

ADF給紙シュートにセットできる原稿の枚数は原稿のサイズと重さで決まります。以下に原稿の重さとセットできる原稿枚数の関係を示します。



小さいサイズ
A4/Letter サイズ以下
大きいサイズ
A4/Letter より大きな原稿

単位	変換表								
g/m2	41	52	64	75	80	90	104	127	203
lb	11	13.9	17.0	20.0	21	24.0	27.9	34.0	54

目次

- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 基本的な操作方法
- 第3章 用途に応じた読み取り方法
- 第4章 日常の手入れ
- 第5章 消耗品の交換
- 第6章 問題が起きたとき
- 第7章 スキャナの設定
- 第8章 ADFにセットする原稿について

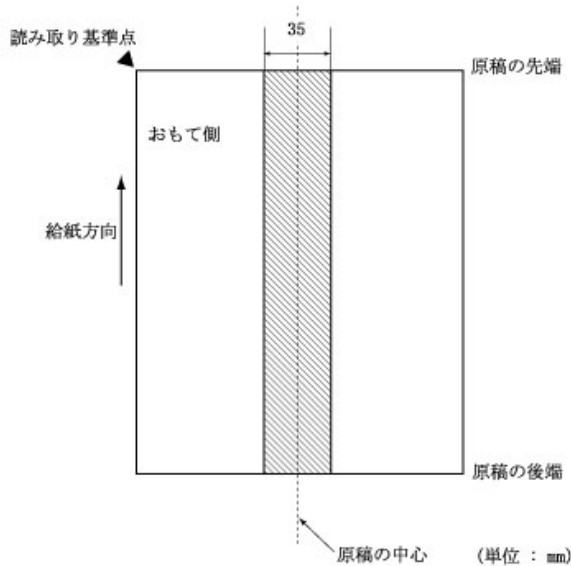
- 8.1 原稿のサイズ
- 8.2 原稿の紙質
- 8.3 セットできる原稿の枚数
- 8.4 穴をあけてはいけない領域
- 8.5 ダブルフィードの検出条件
- 8.6 ジョブ区切りシート

- 第9章 オプション
- 第10章 スキャナの仕様
- 付録



8.4 穴をあけてはいけない領域

ADFで原稿を読み取る場合、以下の図の斜線の領域に穴があるとエラーの原因になることがあります。



目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

8.1 原稿のサイズ

8.2 原稿の紙質

8.3 セットできる原稿の枚数

8.4 穴をあけてはいけない領域

8.5 ダブルフィードの検出条件

8.6 ジョブ区切りシート

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録



8.5 ダブルフィードの検出条件

ダブルフィードの検出を正しくおこなうには、原稿が以下の条件を満たしている必要があります。

重なりを検出

原稿の厚さ : 41 g/m² - 203 g/m² (10.9 lb - 53.9 lb)

原稿の中心線を挟む35 mmの領域には、穴あけをしてはいけません。

原稿の中心を挟む35 mmの領域には、のりなどで他の原稿を貼り付けてはいけません。

長さの違いを検出

原稿の長さのばらつき 1%またはそれ以下

原稿の中心線を挟む35 mmの領域には、穴あけをしてはいけません。

重なりと長さの違いを検出

原稿の厚さ : 41 g/m² - 203 g/m² (10.9 lb - 53.9 lb)

原稿の長さのばらつき 1%またはそれ以下

原稿の中心線を挟む35 mmの領域には、穴あけをしてはいけません。

原稿の中心を挟む35 mmの領域には、のりなどで他の原稿を貼り付けてはいけません。

ヒント

原稿の重なりを検出する場合、密着した原稿（のり付け、静電気による貼り付き）ではダブルフィード検出率が落ちる場合もあります。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

8.1 原稿のサイズ

8.2 原稿の紙質

8.3 セットできる原稿の枚数

8.4 穴をあけてはいけない領域

8.5 ダブルフィードの検出条件

8.6 ジョブ区切りシート

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

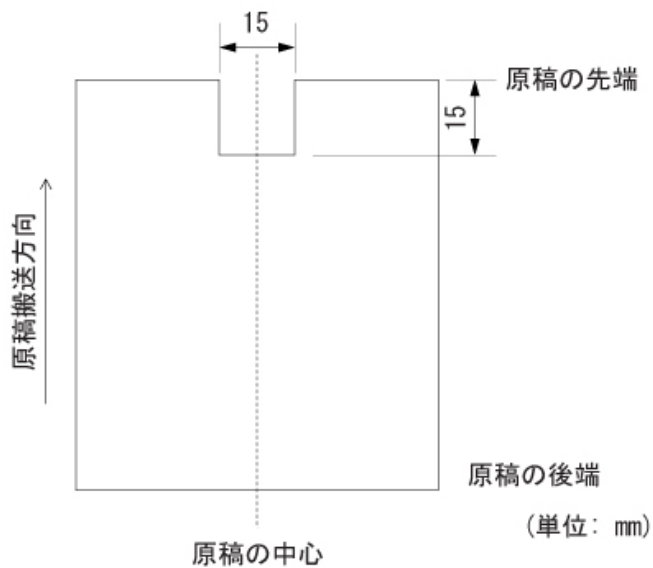
付録



8.6 ジョブ区切りシート

1. シートの形状

代表的なジョブ区切りシートの形状を以下を示します。



2. 原稿の仕様

原稿の幅は A4 の幅 (210mm) 以上にしてください。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

9.1 増設メモリ

第10章 スキャナの仕様

付録



第9章 オプション

この章では、本装置のオプションについて説明します。

fi-5750C イメージスキャナ オプション

No.	名称	仕様	項目
1	黒色原稿押さえパッド	PA03338-D960	フラットベッド用の黒色背景です。交換は簡単におこなえます。
2	画像処理ソフトウェアオプション	PA43400-D72201	画像処理 (2値化)をおこないません。

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
9.1 増設メモリ
第10章 スキャナの仕様
付録

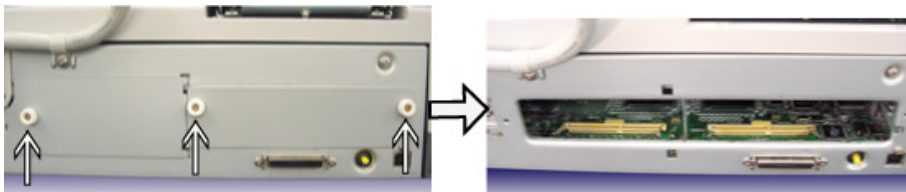


第9章 オプション (前頁からの続き)

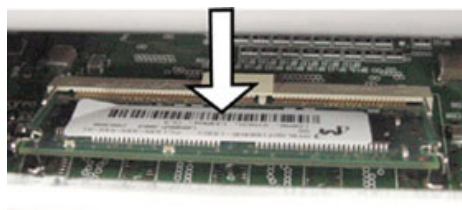
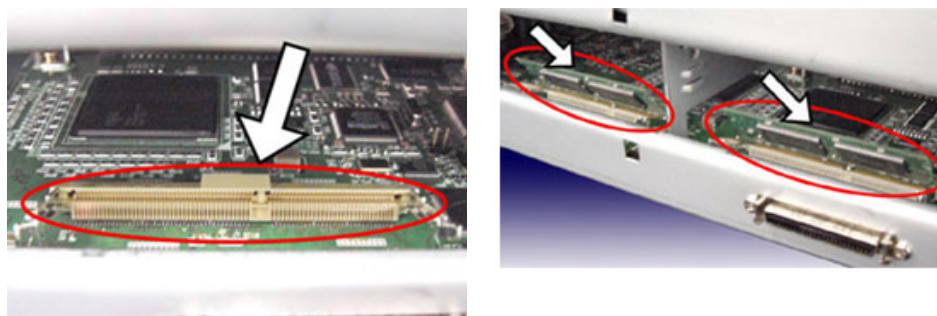
9.1 増設メモリ

このメモリをインストールすることで、高解像度設定の読み取り時に処理速度が低下することがなくなります。(例えば、A3カラー両面401dpi以上に解像度を設定して原稿を読み取った場合でも、読み取り処理が中断することがなくなります。)

1. スキャナ本体背面のネジを外し、カバーを取り外します。



2. メモリボードをスロットに差し込み、上から押してツメで固定されるようにします。



3. ネジをしめて、カバーを取り付けます。

fi-5750Cイメージスキャナ用増設メモリの推奨品は以下の通りです。同じ仕様のメモリを2枚取り付けてください。なお、増設メモリは市販品をご購入ください。

メーカー	型格	メモリサイズ
Micron Technology	MT4LSDT1664HG-13E	128MB
Micron Technology	MT8LSDT3264HG-13E	256MB

注記

2枚のボードの仕様が異なると正しく動作しない場合があります。

ヒント

増設メモリが確実に取り付けられたかどうか確認するには、「Software Operator Panel」の「装置」タブをクリックし、「スタンダード情報」の「スキャナメモリ」の値を見てください。

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様

10.1 装置基本仕様
10.2 設置諸元
10.3 外形寸法

付録



第10章 スキャナの仕様

この章ではスキャナの仕様について説明します。

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様
10.1 装置基本仕様
10.2 設置諸元
10.3 外形寸法

付録



10.1 装置基本仕様

No.	項目	仕様	備考	
1	スキャナタイプ	ADF(オートマチックドキュメントフィーダ)、フラットベッド		
2	イメージセンサ	カラー CCD x 3	表/裏/フラットベッド	
3	光源	白色冷陰極蛍光放電管 x6	表/裏/フラットベッド 各2本	
4	読み取り範囲	最小	A8 縦 (*1)	
		最大	A3 または 11x17インチ 読み取り可能原稿長 : 297x863mm (*2)	
5	原稿の厚さ	41 g/m ² ~ 203 g/m ² (A4 letterサイズ) 52 g/m ² ~ 203 g/m ² (A4 letterサイズ以上)	ADF読み取り時	
6	読み取り速度 (A4, 縦, 200dpi)	ADF	片面 55 枚/分 両面 110 面/分	バイナリ (モノクロ2値) グレースケール/カラー (*3)
		フラットベッド	0.9 秒	
7	原稿搭載容量	200 枚	A4, 80 g/m ² (*4)	

*1 ADF読み取りでの原稿の最小サイズはA8です。フラットベッド読み取りの場合、最小原稿サイズは基本的に制限はありません。

*2 長尺帳票読み取りはADF読み取り時に可能。

*3 読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。

*4 最大搭載枚数は原稿の厚さによって異なります。第8章「ADFにセットする原稿について」を参照してください。

*5 SCSIインタフェースとUSBインタフェースを同時に使うことはできません。

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

10.1 装置基本仕様

10.2 設置諸元

10.3 外形寸法

付録



10.1 装置基本仕様 (前頁からの続き)

No.	項目	仕様		備考
8	光学解像度	基本解像度	600 dpi	バイナリ (モノクロ2値) グレースケール/カラー
		出力解像度	50 dpi ~ 600 dpi	
9	読み取り階調	8 bits/pixel (カラー), 8 bits/pixel (グレースケール), 1 bit/pixel (バイナリ)		
10	出力モード (中間調)	ディザ、誤差拡散		
11	インタフェース	Ultra SCSI	シールド型 50ピン(ピンタイプ)ハーフピッチ	(*5)
		USB 2.0/1.1	B タイプ	
12	その他の機能	ハードリアルタイムJPEG圧縮		グレースケール/カラー

<< 1 | 2 >>

目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

10.1 装置基本仕様

10.2 設置諸元

10.3 外形寸法

付録



10.2 設置諸元

項目		仕様		
寸法(ADF給紙シュート、スタッカ共非装着時)		幅	奥行き	高さ
		690 mm	500 mm	342 mm
設置スペース(ADFの位置が標準の場合)		1030mm x 700mm x 430mm (幅 x 奥行き x 高さ)		
質量		35kg		
入力電源	電圧範囲	AC100V - 240V, +10%		
	相	単相		
	周波数範囲	50/60 +- 3 Hz		
消費電力		216 W以下		
環境条件	装置状態	使用時	非使用時	
	温度	5 ~ 35	-20 ~ 60	
	湿度	20 ~ 80%	8 ~ 95%	
サポート期間		5年		

目次

- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 基本的な操作方法
- 第3章 用途に応じた読み取り方法
- 第4章 日常の手入れ
- 第5章 消耗品の交換
- 第6章 問題が起きたとき
- 第7章 スキャナの設定
- 第8章 ADFにセットする原稿について
- 第9章 オプション
- 第10章 スキャナの仕様

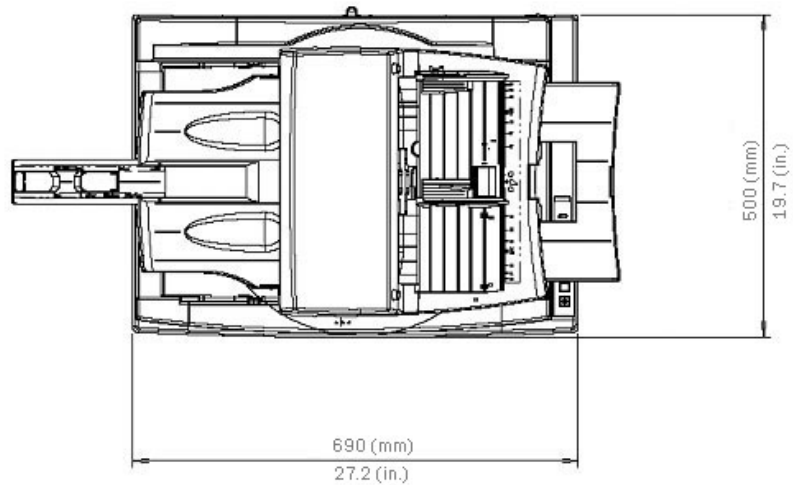
- 10.1 装置基本仕様
- 10.2 設置諸元
- 10.3 外形寸法

付録



10.3 外形寸法

fi-5750Cの外形寸法は以下のとおりです。



« 1 | 2 »

目次

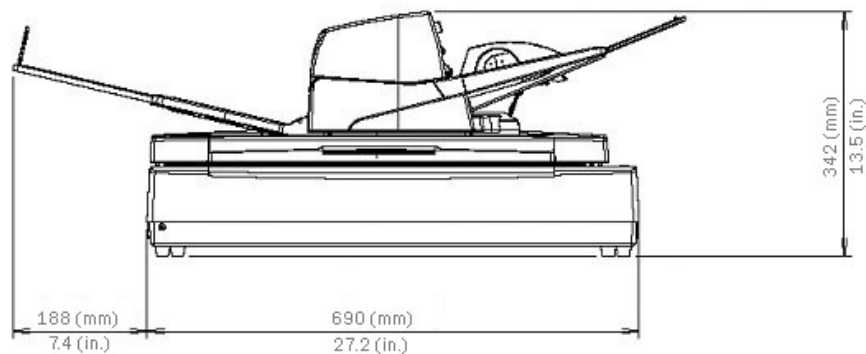
- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 基本的な操作方法
- 第3章 用途に応じた読み取り方法
- 第4章 日常の手入れ
- 第5章 消耗品の交換
- 第6章 問題が起きたとき
- 第7章 スキャナの設定
- 第8章 ADFにセットする原稿について
- 第9章 オプション
- 第10章 スキャナの仕様

- 10.1 装置基本仕様
- 10.2 設置諸元
- 10.3 外形寸法

付録



10.3 外形寸法 (前頁からの続き)



<< 112 >>

(側面図)

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様

付録

付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に

付録 2 用語解説

付録

付録は以下の構成になっています。

付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に
付録 2 用語解説

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様

付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に

付録 2 用語解説



付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に

あらかじめ[Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンにアプリケーションの関連付けを設定しておくことで、ボタンを押すと設定したアプリケーションを起動することができます。

Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XPの場合

1. [スタート]から[コントロールパネル]を選択します。
2. [スキャナとカメラ]から[プロパティ]を選択します。
3. [イベント]タブを選択します。
4. Windows XPの場合は、[イベントを選択してください]のメニューから、アプリケーションを起動するイベントを選択します。



本機能では、以下のイベントを選択できます。
 Scan button ([Scan]ボタンを押したとき)
 Feeder loaded with paper (ADFに原稿をセットしたとき)
 Send to 1 ~ 9([Send to]ボタンを押したとき)

目次

はじめに
第1章 各部の名称と機能
第2章 基本的な操作方法
第3章 用途に応じた読み取り方法
第4章 日常の手入れ
第5章 消耗品の交換
第6章 問題が起きたとき
第7章 スキャナの設定
第8章 ADFにセットする原稿について
第9章 オプション
第10章 スキャナの仕様

付録
付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に
付録 2 用語解説



付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に (前頁からの続き)

5. イベントで起動するアプリケーションと実行する処理を選択します。Windows XPの場合は、[動作]の下の[指定したプログラムを起動する]を選択して、右のメニューからアプリケーションと処理を選択します。

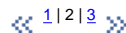


6. [OK] をクリックします。

ヒント

ADFに原稿をセットしたときにポップアップ画面が表示される場合があります。この画面を表示しないように設定するには、[イベントを選択してください]から[Feeder loaded with paper]を選択し、[動作]下の[何もしない]を選択してから[OK]をクリックしてください。

お使いのOSによって表示される画面および操作が異なります。



目次

はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 基本的な操作方法

第3章 用途に応じた読み取り方法

第4章 日常の手入れ

第5章 消耗品の交換

第6章 問題が起きたとき

第7章 スキャナの設定

第8章 ADFにセットする原稿について

第9章 オプション

第10章 スキャナの仕様

付録

付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に

付録 2 用語解説



付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に (前頁からの続き)

Windows 95、Windows NT 4.0の場合

1. タスクトレイ上の[FUJITSU Scanner Control Center]を右クリックして、[オプション]を選択します。
2. [イベント]メニューから、アプリケーションを起動するイベントを選択します。
本機能では、以下のイベントを選択できます。



Start/Scan([Scan]ボタンを押したとき)

Send to 1 ~ 9 ((Function)ボタンで番号を切り替え、[Send to]ボタンを押したとき)

3. [Bus]の右の[...]ボタンで起動するアプリケーションを選択します。
4. [OK]をクリックします。